

**令和2年度
文化芸術による子供育成総合事業
—巡回公演事業—**

実施の手引き

(制作団体用)



文化庁

**文化庁参事官(芸術文化担当)付
学校芸術教育室芸術教育推進係
株式会社近畿日本ツーリスト首都圏**

目次

■ 「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」について	…	1-5
■ 各種手続きについて	…	7-10
■ 委託経費について	…	11-33
■ プログラムデータの作成について	…	35-37
■ 見積書・精算報告書関連 様式集	…	39-49
■ 「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」 実施団体一覧	…	51-54
■ 「文化芸術による子供育成総合事業」実施要綱	…	55-59

文化芸術による子供育成総合事業 事務局

株式会社近畿日本ツーリスト首都圏
文化芸術による子供育成総合事業事務局
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-14-24
西新宿KFビル3階(KNTビジネスクリエイト内)
TEL:0570-064-203 / FAX:03-6730-6006 / E-mail:j2-kodomogeijutsu@gp.knt.co.jp
事業ウェブサイト URL: <http://www.kodomogeijutsu.go.jp/>
※開局時間10:00-17:00(平日)

【1】「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」概要

1. 事業の趣旨
2. 事業実施方法
3. 実施期間
4. 実施計画
5. 主催者
6. 会場
7. 参加者

【2】実施の流れ

1. 実施の流れ(図表)
2. 事業実施に当たっての留意事項

【1】「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」概要

1. 事業の趣旨

文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—は、小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行い、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とした事業です。

2. 事業実施方法

全国を10ブロックに分割し、公演種目(合唱、オーケストラ等、音楽劇、児童劇、演劇、ミュージカル、バレエ、現代舞踊、歌舞伎・能楽、人形浄瑠璃、邦楽、邦舞、演芸、映像、メディアアート等)を割り振って実施します。

公演の実施に当たっては、事前に公演に関するワークショップを行い、児童・生徒を実演に参加させるとともに、実演指導又は鑑賞指導を行ってください。

3. 実施期間

実施期間は次のとおりとします。

(1)ワークショップ:令和2年5月7日(木)から令和3年1月29日(金)まで

(2)公演 :令和2年6月1日(月)から令和3年1月29日(金)まで

※今年度の実施については、新型コロナウイルス感染症の影響により、通常期間内での実施が難しい場合があるかと思っておりますので、令和3年2月26日(金)までを対象実施期間とします。

令和3年2月1日以降への日程延期等を必要とする場合は、事務局へ御相談ください。

4. 実施計画

申請時に提出している実施希望調書に基づき実施計画書を作成してください。実施計画の確認後、委託契約を締結しますので、実施計画の変更は原則として認められません。

※ただし今年度の実施については、新型コロナウイルス感染症予防及び拡大防止の観点から、学校側の要望や状況を鑑み、プログラムや実施方法を一部改変せざるを得ない状況も想定されます。

実施にあたり懸念事項等がある場合は、実施校と必要な対応を御相談の上、事務局へ御連絡ください。

5. 主催者

主催者は次のとおりとし、必要に応じて会場の管理者、市(区)町村、市(区)町村教育委員会その他文化庁長官が適当と認める者を共催者として加えることができます。

(1)文化庁

(2)都道府県、都道府県教育委員会、政令指定都市、政令指定都市教育委員会のいずれか又は複数(以下「都道府県等」という。)

(3)小学校・中学校等

6. 会場

実施会場は、原則として小学校・中学校等の施設とします。ただし、複数の学校が合同で実施する場合や全校児童・生徒を収容できる施設がない場合等には、文化施設等適切な施設で実施することができます。この場合の経費は、児童・生徒の移動費を除き、学校又は共催者の負担となります。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、三密(密集・密閉・密接)にならないようにする等の工夫をお願いします。

7. 参加者

児童・生徒、教職員、保護者等を対象としています。

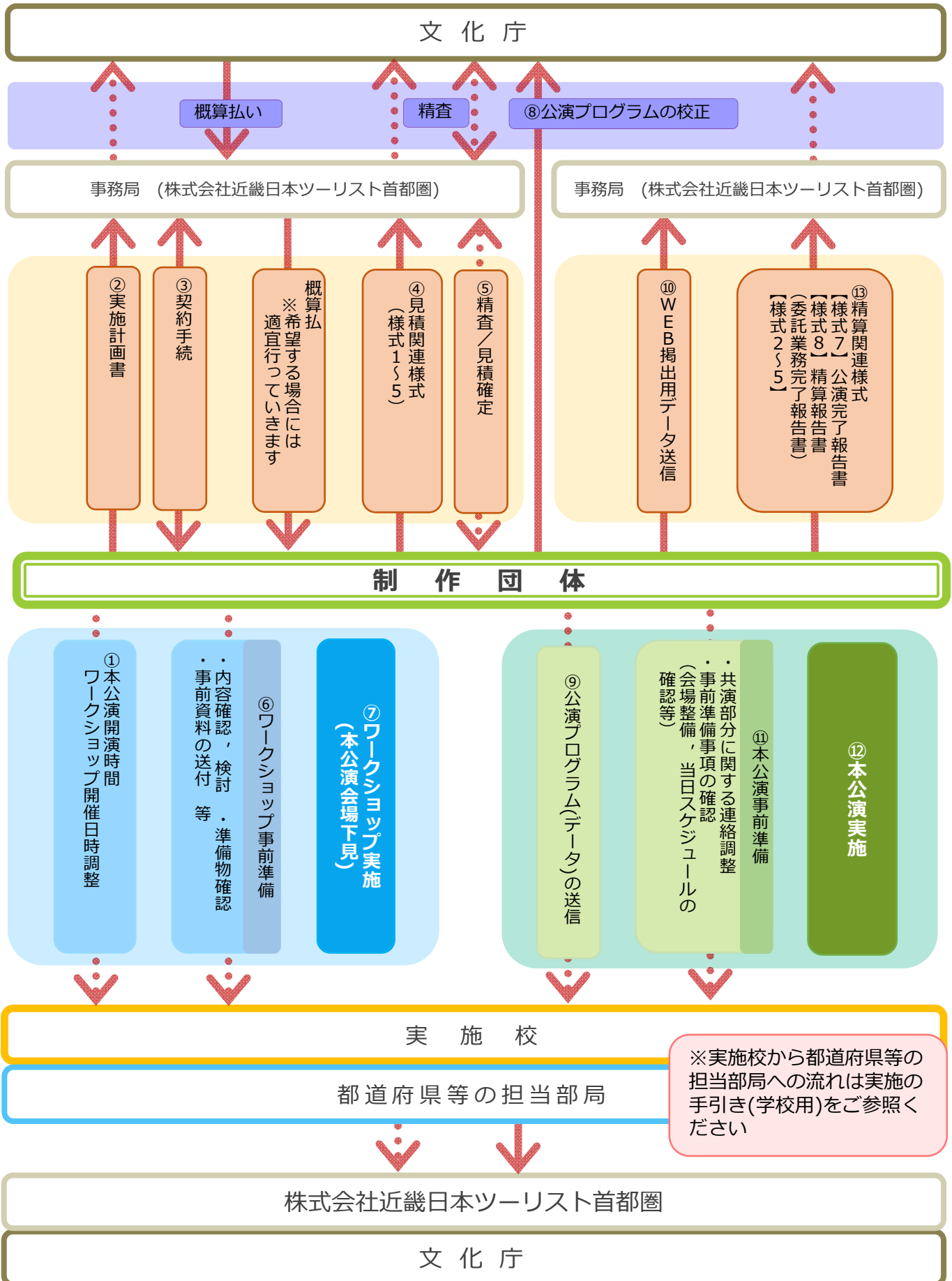
※ より多くの児童・生徒が優れた舞台芸術に触れられるよう複数校による合同開催を行う場合は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、三密(密集・密閉・密接)にならないよう、工夫をお願いします。なお2回公演等をお引き受けいただく場合でも、支払上限額は原則実施校1校当たり1回分までとなりますが、大規模校であり1学年全体の鑑賞も困難な状況がある等2回公演を回避できない状況がある場合は、事務局へ御相談ください。

【1】実施の流れ

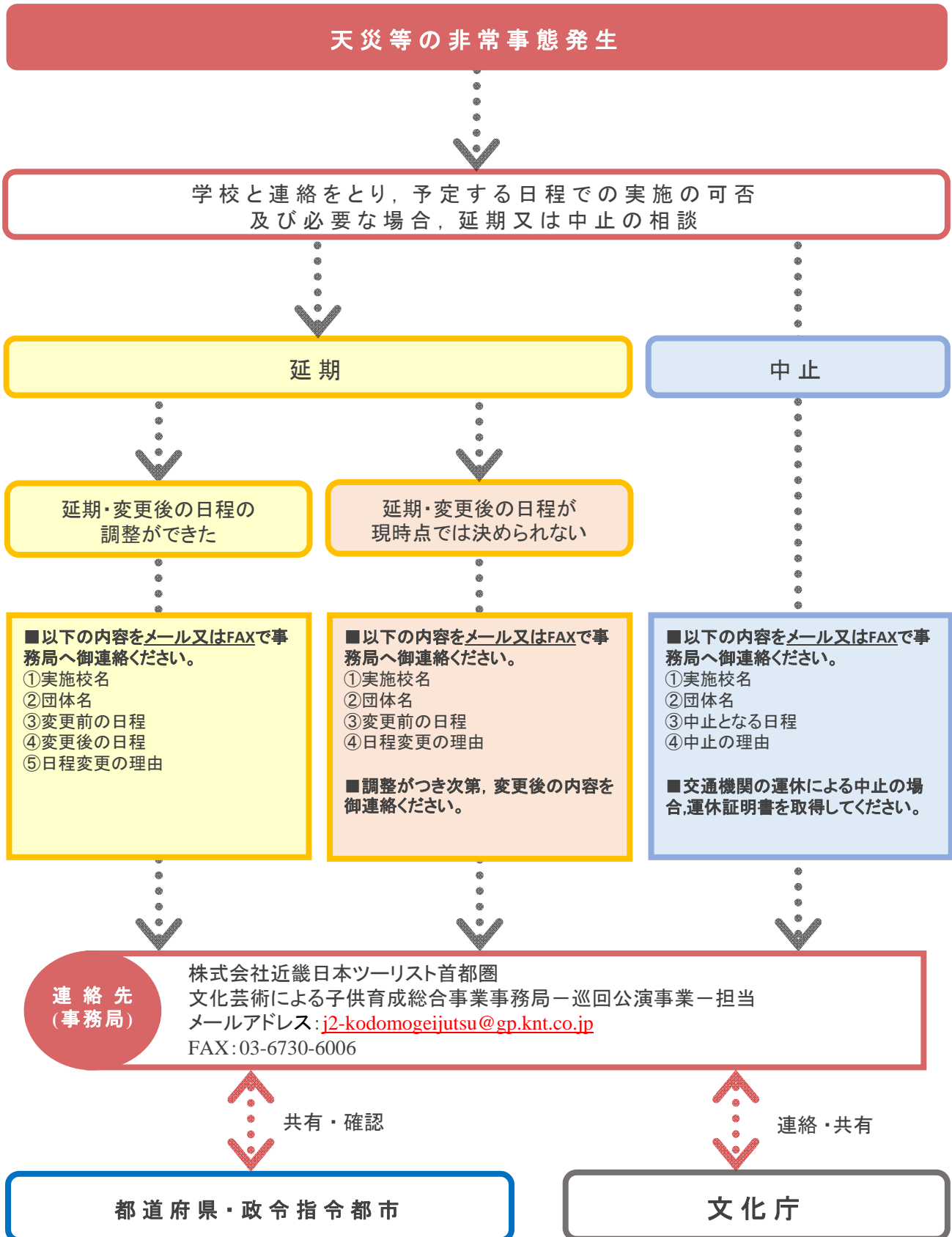
.....➡ 連絡 ➡ 提出

※令和2年度の実施においてはワークショップを事前に行うことが困難な場合、安全性の観点から、別途会場下見のみを行うことがあります。

1. 事業に関する手続きの流れ(図表)



天災、インフルエンザの流行等により、やむを得ず決定時から変更する場合の手続き



2. 事業実施に当たっての留意事項

①実施校との打合せについて

学校の先生は、人事異動等により事業申請時の担当から代わっている場合があります。また、代わっていない場合でも、ワークショップの実施から本公演の流れについて、丁寧な打合せをお願いします。

各実施校へは、「出演希望調書」内に記載されている「公演に当たっての会場条件」を必読の上、御応募いただくようお願いしていますが、ワークショップ時に会場を下見するなどし、団体が意図して提示した条件が整えられているか、再度確認の上、実施に当たってください。不足がある場合は、理由を明確に伝えた上で、学校側と調整してください。

②児童・生徒の体調への配慮について

本事業の実施に当たり、熱中症対策や寒さ対策について、実施校と十分調整してください。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、三密(密集・密閉・密接)にならないようにする等の工夫をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症予防のために必要となる消毒液等の消耗品の購入費用の計上を認めます。実施前に学校側と必要な対応を必ず相談してください。

③関連の取組について

本事業の実施に関連して、授業時間やワークショップ・本公演の前後の時間を使って、あるいは本公演プログラムの一環として、次のような取組を実施するとより効果的です。

- ・関連内容の授業の実施
- ・感想発表
- ・質問コーナー
- ・舞台裏見学 等

これらの活動は、公演内容の理解を深めるだけでなく、児童・生徒にとって公演団体と身近に交流する貴重な時間となりますので、本事業の実施を普段はできない様々な学習の機会として活用してください。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、三密(密集・密閉・密接)にならないようにする等の工夫をお願いします。

④日程の変更について

原則として本事業(ワークショップ・本公演ともに)の日程変更・中止は認められませんが、台風・インフルエンザ等のやむを得ない理由により予定していた日程での実施が不可能となった場合は、事務局へ速やかに報告し、指示に沿って日程の再調整を行ってください。

【MEMO】

各種手続きについて

【1】事業に関する手続きの流れ

1. 事業に関する手続きの流れ(3ページ参照)

【2】各種手続きの方法と期限

1. 契約
2. 見積書及び関連書類の提出
3. 概算払の請求と支払い
4. 事業完了報告
5. 精算報告書及び関連書類の提出
6. 精算金額(概算払差額)の確認と請求
7. 提出書類一覧表

【1】 事業に関する手続きの流れ

●事業に関する手続きの流れについては、3ページを参照してください。

【2】 各種手続きの方法と期限

1. 契約

- 実施計画書を提出してください。**提出期限：令和2年4月30日(木)**
- 契約書は、事務局が作成します。※手続きの詳細は別途御案内します。
- 実施計画書に記載の内容の変更は原則として認められません。やむを得ず変更する場合は「実施計画変更承認申請書」による事前申請が必要です。
- 会社名又は団体名、代表者氏名および住所を変更したときは、事務局へ文書により遅滞なく通知してください。

2. 見積書及び関連書類の提出

提出期限：令和2年6月30日(火)

- 【様式1】見積書とその他関連書類【様式2～5】を作成の上、電子データにて事務局へ提出してください。また、15ページから25ページを確認の上、必要な根拠資料提出してください。
・概算払を希望する場合は、【様式1】見積書の概算払の欄にてお知らせください。
- 書類の到着後、事務局にて精査を行います。確認中は、事務局から、各制作団体の事業御担当者へ詳細について問合せをさせていただく場合があります。他の公演等により、御担当者が長期不在となる場合は、代理を立てるなど、必ず連絡が取れる状態にしてください。
- 書類精査完了後、事務局から「見積金額確定通知(電子データ)」を発行します。

3. 概算払の請求と支払い

- 概算払請求の受付は、文化庁から事務局へ概算払があり、事務局の支払い準備が整った後に開始となります。各団体の希望する時期の支払いを約束するものではありません。
- 受付が可能となりましたら、概算払を希望する団体へ請求書フォーム【様式6】請求書(概算)を送信します。必要事項を記入し押印の上、原本を郵送してください。
- 概算払請求書の締切日及び支払日は、請求書フォームを送信する際に御案内します。

4. 事業完了報告

- 全公演終了後、【様式7】公演完了報告書を作成し、提出してください。

提出期限：全公演終了後45日以内(厳守)又は令和3年3月10日のいずれか早い日

5. 精算報告書及び関連書類の提出

提出期限：全公演終了後45日以内(厳守)又は令和3年3月10日のいずれか早い日

- 公演終了後、【様式8】精算報告書(業務完了報告書)を作成し、証憑書類(請求書、振込票、領収書等)と併せて提出してください。【様式9】及び【様式10】については、様式自体が支払明細書となりますので、支給対象者の氏名については、全件御記載ください(記入を省略することは認められません)。また、その他関連書類【様式2～5】は、見積時から変更があった場合は、該当する箇所を更新の上、提出してください。
- 書類の到着後、事務局にて精査を行います。確認中は、事務局から、各制作団体の事業御担当者へ詳細について問合せをさせていただく場合があります。他の公演等により、御担当者が長期不在となる場合は、代理を立てるなど、必ず連絡が取れる状態にしてください。

6. 精算金額(概算払差額)の確認と請求

- 委託費は、「見積確定額」と「精算金額」のいずれか低い額を支払います。

精算金額は、精算報告書及び関連書類の精査後に確定します。精算金額確定後に、請求フォーム【様式6】請求書(精算)を送信します。必要事項を記入し押印の上、原本を郵送してください。

7. 提出書類一覧表

手続きの種類	提出期限	様式番号	提出書類	■提出方法 ※留意事項
契約	4月30日(木)	—	実施計画書	■メール添付(Word, Excel)
	事務局からの 発送後 10営業日以内	—	契約書	※事務局が作成し、送付します。
見積	6月30日(火)	様式1	見積書	■メール添付(Excel) ※40ページ～44ページを参照してください。
		様式2	キャスト表	
		様式3	出演料内訳	
		様式4	旅費算定基礎表	
		様式5	車両行程表兼運転手当支払確認表	■メール添付(PDF)又は郵送 ※提出が必要な根拠書類及び留意事項については、15ページ～25ページを参照してください。 ※根拠書類右上に書類番号をつけてください。 ※原本は団体側で保管し、写しを提出してください。
概算払	別途連絡	様式6	請求書(概算)	■事前にデータを送信の上、請求書については原本を郵送 ※様式6及び資金繰表は事務局の支払準備が整った後に事務局から送信します。
実施前	公演実施 7日前まで ※文化庁への校正用データ送信は14日前まで	—	公演プログラム	■メール添付(PDF(1MB, 350dpi程度)) ※本事業ウェブサイトに掲載します。文化庁での校正完了後、速やかに提出してください。 ※留意事項等については36, 37ページを参照してください。
精算	公演終了後 45日以内又は 令和3年3月10日 のいずれか早い日	様式2～5	キャスト表, 出演料内訳, 旅費算定基礎表, 車両行程表兼運転手当支払確認表	■メール添付(Excel) ■様式7, 様式9, 様式10の原本は、精算書類の精査完了通知後に郵送してください。 ※様式2～5については、見積時から変更があった場合、変更内容を反映し作成してください。 ※提出が必要な証憑書類及び留意事項については、15ページ～25ページを参照してください。 ※期限内にすべての様式をデータ送信してください。(証憑書類については、郵送での提出も受け付けます。)
		様式7	公演完了報告書	
		様式8	精算報告書(委託業務完了報告書)	
		様式9	本公演日当支払明細	
		様式10	ワークショップ謝金・日当支払明細	
—	証憑書類	■メール添付(PDF)又は郵送 ※証憑書類右上に書類番号をつけてください。 ※原本は団体側で保管し、写しを提出してください。		
精算払	書類精査完了後	様式6	請求書(精算)	■事前にデータを送信の上、原本郵送 ※様式6は精算金額の確定後に事務局から送信します。
適宜	変更前	—	変更届	■原本郵送 ※団体名(法人格)、住所、代表者の変更がある場合は、必ず事前にお申し出ください。変更届書フォームを送信します。
	変更前	—	実施計画書変更承認申請書	■データ提出、申請承認後原本郵送 ※実施計画書に記載した実施内容について変更がある場合は、必ず事前にお申し出ください。実施計画変更承認申請書のフォームを送信します。

●各書類様式は下記のウェブサイト(本事業のウェブサイト)からダウンロードしてください。

<http://www.kodomogeijutsu.go.jp/>

【1】見積書・精算報告書作成上の注意点

1. 経費の積算について
2. 経費の決定方法
3. 計上できる主な費目
4. 計上できない経費
5. 各手続における確認事項
6. 各経費について
(提出が必要な証憑書類と留意事項)
7. その他の留意事項
8. 根拠書類, 証憑書類の取得について
9. 委託費執行に当たっての留意事項
10. 精算報告書の提出と実地検査の実施
11. 不正行為に係る処分

【1】見積書・精算報告書作成上の注意点

1. 経費の積算について

- 本事業は学校公演であるとともに、子供たちの豊かな情操を育むために実施しているものであり、可能な限り低廉な価格での公演をお願いします。
限られた予算内での実施となるため、団体におかれましては各業者へ発注の際には金額交渉を行っていただくようお願いします。場合によっては、相見積書の提出をお願いすることがあります。
- 委託金は国費(税金)ですので、契約段階から経費について精査し、見積確定額の範囲内で確定させていただきます。また、支払いに当たっては、各種請求書及び銀行振り込み等支払いが証明できる書類(以下、証憑書類という)の写しの提出が必要です。
- 見積確定金額は本事業の規定に沿って決定しますので、各団体の規定に沿えない場合があります。
- 本公演は、【実施校1校につき、1公演分】を支払います。
また、ワークショップ費についても、【実施校1校につき、1回分】を支払います。

2. 経費の決定方法

- ①「公演費」は、御応募時に提出いただいた「出演希望調書」No.7公演費用明細の費目単価を基に、「基礎額」を決定します。基礎額は別途通知します。
なお、実施するブロックや学校の決定により、必要が生じた新たな経費(※1)については、理由、内容を確認、文化庁の承認を得た上で、基準額とは別に計上が認められます。これを「見積上限額」とします。書類精査完了後、事務局より「見積金額確定通知(電子データ)」を発行します。
- ②「派遣費」については、【様式1】見積書のほか、【様式4】旅費算定基礎表及び【様式5】車両行程兼運転手当支払確認表の行程や移動方法を確認し、「見積上限額」を確定します。書類精査完了後、事務局より「見積金額確定通知(電子データ)」を発行します。
- ③精算報告書及び関連書類の精査後に「精算金額」を確定します。委託費は、「見積確定額」と「精算金額」のいずれか低い額を支払います。不可抗力により発生した経費により「見積確定額」を超える場合は、内容を精査の上、「見積確定額」とは別に、金額を確定します(※2)。
なお、見積確定額の合計金額の範囲内で「公演費」から「派遣費」への経費を流用することは認められますが、この場合、公演の内容を変更して対応することは認められません。また、費目の20パーセントを超える流用や増減があった場合は、「実施計画変更承認申請書」による事前申請が必要です。

委託額の決定方法(図表)

		確認・精査			※2	確認・精査		
公演費	出演費	※1 出演費 基準額＝ 費目単価 × 公演回数	① 公演費見 積上限額	決算書	出演費 見積上限額 内で確定	出演費 見積上限額 内で計上	※2 出演費 見積上限額 内で確定	③ 精算金額
	① 「出演希望 調書」No.7 公演費明細	見積書	公演費から の流用					
派遣費	派遣費	派遣費見 積上限額	②	見積上限額 内で確定	見積上限額	見積上限額 内で確定	③ 精算金額	
				※A	※B	※C		

- ※1: 実施するブロックや学校の決定により、必要が生じた新たな経費
- ※2: 不可抗力により発生した経費
- ※A: 公演費、派遣費ともに見積上限額内で収まった場合
- ※B: 派遣費が見積上限額を超え、公演費からの流用が可能な場合
- ※C: 不可抗力により、やむを得ず新たな経費が発生した場合

3. 計上できる主な費目

実演芸術分野			メディア芸術分野		
項目	費目		項目	費目	
出演費	出演料 演奏料 オーケストラ演奏料 コンサートマスター料 助演者出演料 解説料	指揮料 ソリスト出演料 合唱料 伴奏料 司会料	メインプログラムに 係る人件費	エドューケーター人件費 講師料 監督料 スタッフ費 プロデューサー料 司会料	指導料 アシスタント料 助監督料 オペレーション費 アシスタントプロデューサー料
文芸費	演出料 脚本料 演出助手料 監修料 舞台監督料 舞台監督助手料 音響プラン料 著作権使用料 原作使用料 スライド使用料	照明プラン料 衣装プラン料 装置プラン料 台本作成料 舞台美術料 振付料 振付助手料 脚本使用料 原画使用料 ワークショップ教材料	文芸費	企画料 脚本料 原画使用料 原作使用料 プログラム設計料 設計料 デザイン費 システム使用料(実施期間のみ) ソフト使用料(実施期間のみ) 通信環境一時整備費(無線LAN等)	監修料 台本作成料 作品使用料 著作権使用料 プログラミング費 編集料 教材作成費
音楽費	写譜料 楽器借料 作詞料 訳詞料 音楽著作権料	楽譜借料 楽器使用料 作曲料 編曲料 調律料	借損料	美術使用料 映像機材使用費 照明機材使用費 通信機材借料	美術借損費 映像機材借損費 照明機材借損料
舞台費	大道具費 小道具費 人形損料 衣装費 床山費 照明費 効果費	装束損料 履物費 履物損料 かつら費 メイク費 音響費 舞台スタッフ費	消耗品費	・ワークショップ、メインプログラムで使用 する資材に限り計上可 ※精算時は購入物品の購入日、品名、 数量、単価、用途等の確認が必要で す。	
ワークショップ費	主指導者(1名まで) 補助者(5名まで)		ワークショップ費	主指導者(1名まで) 補助者(5名まで) ※実施(採択)校1校につき2回分まで計上可	
その他経費	上記の費目に含まれない経費で、「出演希望調書」No.7公演費用明細に計上し、審査において認められた経費(電源車、発電機等)の内、 実際に適用が必要となった実施校分のみ計上可。 ※新型コロナウイルス感染症予防対策に係る経費、および、新型コロナウイルス感染症の影響により事前ワークショップを行うことができ ず、事前教材の送付等により代替え対応をとる場合に、申請時に文芸費内で見込んでいたワークショップ教材費の範囲を超えて生じる教 材費(この場合は、必ず見積時に申請してください。)				
プログラム 作成費	デザイン費	データ作成代	※外部に発注する場合のみ計上可。印刷代については計上できません。		
運搬費	大道具運搬費 楽器席代	衣装運搬費	楽器運搬費	教材運搬費	
ワークショップ旅費	交通費	日当	宿泊費	※交通費、日当、宿泊費ともに6名まで ※新型コロナウイルス感染症の影響により事前ワークショップを行えない場合の会場下見に係る交通費(原則2名程度)	
本公演旅費	交通費	日当	宿泊費		

4. 計上できない経費

● 次の経費については計上できません。

- 公演団体における稽古・指導に係る経費
- リハーサル・練習会場借上費
- 新しい製作物・演目を作成するための経費(児童・生徒との共演のために改変する場合を除く)
- 大道具, 機材等の修理代
- 制作費
- 贈答品にあたるもの(指揮棒・Tシャツなど)
- 食費(弁当・ケータリング等)
- 地元主催者負担経費 (下記の経費については地元主催者で負担するようお願いしております。)
 - ・学校の施設設備の使用に係る経費:光熱水料, 灯油代, 暖房機レンタルなど
 - ・体育館の条件整備に係る経費:ピアノ移動・調律費など
 - ・文化施設を利用する場合の会場借上料
- 事務所維持費, 備品購入費, 事務用品購入費, 事務局職員給与
- 印紙代, 振込手数料
- 電話代等の通信費
- 任意加入の保険料(旅行保険, レンタカーの免責補償等)
- 代理店手数料

5. 各手続における確認事項

● 見積書類精査時には, 次の点を確認します。

■ 公演費

- ・「出演希望調書」No.7公演費の各費目単価と【様式1】見積書の費目及び費目ごとの単価を比較し, 申請金額の範囲内に収まっているかを確認します。
- ・団体所有物又は団体の所有する権利, 所属員の役務等に係る経費について, 算出根拠の有無を確認します。
- ・費目の追加や増額がある場合は, 金額及び理由を確認し, 計上の可否を判断します。
なお, 計上の可否についての判断基準は次のとおりです。

【計上可】ブロック及び実施校の決定により新たに必要になった経費(見積様式提出時に理由を添えて提出してください。)

【計上不可】「出演希望調書」No.7提出時の計上漏れ, 計算ミス, 団体都合による増額

■ 派遣費

- ・行程及び移動方法を確認します。
- ・公共交通機関がある地域において, 公共交通機関以外を利用の場合の理由(【様式4】に公共交通機関利用時との比較結果を記載してください。)
- ・車両を利用する場合, 手配台数及び車両の大きさの妥当性を確認します。
- ・計上内容及び理由が適正ではないと判断した場合は, 手配内容を見直しの上, 実施に当たっていただくようお願いする場合があります。精算書類精査時に, 再度, 調整後の手配内容を確認します。精算時まで使用理由が明確に示されない場合は, 計上を認められない場合もありますので, 十分に検討の上, 旅行の手配を行ってください。

●精算書類精査時には、次の点を確認します。

■公演費

- ・精算金額が見積上限額(確定額)を超えていないかを確認します。
- ・対象外経費が含まれていないかを確認します(他の経費への流用は不可)。
- ・請求書, 支払記録(支払実績)

■派遣費

- ・不可抗力による日程変更の有無と増額金額の確認
- ・不可抗力により行程を変更した場合を除き, 見積上限額(確定額)を超えていないかを確認します。
- ・巡回順, 日程, 行程(巡回順の変更及び移動人数について, 見積時からの変更は原則として認められません。)
- ・対象外経費が含まれていないかを確認します(派遣費内での流用は可)。
- ・請求書, 支払記録(支払実績)

※ 公演費から派遣費への流用について, 総額の20パーセントを超える場合は実施計画変更承認申請書による事前申請が必要です。

6. 各経費について(提出が必要な証憑書類と留意事項)

【様式1】見積書, 【様式8】精算報告書(委託業務完了報告書)記入上の留意点

- 【様式1】見積書, 【様式8】精算報告書(委託業務完了報告書)は,それぞれ見積金額,精算金額の総括表となります。その他の様式の内容や合計金額と係属又は一致していることを確認の上,提出してください。
- 【様式1】と【様式8】内に計上する項目,費目の名称は統一してください。
- 企画提案時(希望調書提出時)に記載のない経費を新たに計上することは,原則として認められません。ただし,同じ項目内又は費目内で金額の調整をつけていただく場合はその限りではありません。
- 出演料については,原則,申請時の基準額(費目単価×公演回数)を超える計上は認められません。また,他の項目への流用は認められません。
- ポイント等での支払い分は計上を認められません。

費目	見積時	精算時	計上にあたっての留意点
	■提出が必要な様式 ●提出が必要な根拠書類	■提出が必要な様式 ●提出が必要な証憑書類	
全体	<ul style="list-style-type: none"> ■【様式1】見積書 ※ 項目毎の合計ではなく費目毎の内訳を明記してください。 ※ 団体所有物又は団体の所有する権利,所属員の役務等に係る経費を計上する場合,「算出根拠」欄の団体規約等請求額の算出の根拠の種類を選択してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ■【様式8】精算報告書(委託業務完了報告書) ■【様式7】公演完了報告書(押印原本) 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 見積書の提出は不要ですが,各団体におかれましては,必ず取得,保管してください。また,相見積を取得した場合は,相見積についても保管をお願いします。価格の適性を確認するために開示を求める場合があります。 ※ 立替払を挟む場合は,精算時に,団体から立替払い本人への支払記録書類についても提出が必要です。

費目	見積時	精算時	計上に当たっての留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 提出が必要な様式 ● 提出が必要な根拠書類 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 提出が必要な様式 ● 提出が必要な証憑書類 	
出演費 【メインプログラムに係る人件費】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 【様式2】キャスト表 ■ 【様式3】出演料内訳 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 【様式2】キャスト表 ■ 【様式3】出演料内訳 <p>【オーケストラ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体直接雇用団員 支払記録の提出は不要です。 <p>※オーケストラ出演料一式としている場合は、精査時又は事業の完了後に、計上金額の内訳及び支出記録の開示を求める場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直接雇用団員以外(エキストラ出演者等) <ul style="list-style-type: none"> ● 請求書 ● 振込票 <p>【オーケストラ以外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各個人への支払記録 ・ 団体直接雇用の場合は振込票及び従事実績に基づく計上金額積算根拠 ・ 外部所属者の場合は請求書及び振込票 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 【様式3】はランク(単価)や役職ごとに記入してください。(一式計上不可) ※ 伝統芸能分野、バレエ等の主たる出演者、指揮者、コンサートマスター、ソリスト、その他メインの出演者の変更については、文化庁の承認が必要となります。また、指揮者の出演料については、文化庁から調整をお願いする場合があります。
文芸費	<ul style="list-style-type: none"> ● 「出演希望調査」No.7で申請している費用以外の経費を計上する場合、及び1公演当たりの費目単価を引き上げて計上する場合は、理由書(様式任意)を提出してください。 ※ 学校公演を行うに当たり新たに発生する各種プラン料・監修料以外の計上は認められません。特に、過年度に同演目で採択実績がある場合、過去に請求した内容との重複がないか確認の上、計上してください。対象内容について詳細をお伺いする場合があります。 ※ 脚本料については、対象内容をお知らせください(脚本使用料と脚本料は明確に分けて記載してください)。 ※ 各種使用料については、使用についての取決めが書面で交わされているかを必ず確認の上、計上してください。 ※ 演出、振付料については学校公演を行うに当たり、やむを得ず一部変更が必要となる場合、児童・生徒との共演に係る経費についてのみ計上が認められます。 ※ ワークショップ教材費(材料代)は、採択校の参加児童・生徒数に基づく計算書等の提出を求める場合があります。 	<p>外部へ発注した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 請求書 ● 振込票 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 通常の公演で使用料が発生しない団体所有物又は団体の所有する権利、所属員の役務等に係る経費の使用料を計上することはできません。 ※ 請求書は、費目、単価、数量が明確に分かる形で御取得ください。 ※ 当該事業に関する請求であることが判断できない経費については認められません(各請求元へはできる限り事業名の記載又は使用日の記載をお願いしてください)。事業名を省略する場合は「文化庁R2巡回公演事業」としてください。 ※ 請求書の内訳を複数の費目に分けて計上する場合、計上内容が【様式8】のどの部分に該当するのかを証憑書類内に明記の上、御提出ください。26ページの証憑書類提出例を御参照ください。

費目	見積時	精算時	計上に当たっての留意点
	■提出が必要な様式 ●提出が必要な根拠書類	■提出が必要な様式 ●提出が必要な証憑書類	
音楽費 【借損料】	<p>※ 「出演希望調書」No.7で申請している費用以外の経費を計上する場合、及び1公演当たりの費目単価を引き上げて計上する場合は、理由書(様式任意)を提出してください。</p> <p>※ 音楽著作権料を計上する場合、JASRAC等に支払う金額を記入してください。</p> <p>※ 開催校の校歌等を児童・生徒と共演するために編曲する場合、編曲料を計上することができます。また、合同開催参加校数が多く、全校分の校歌の演奏が難しい場合は、校歌以外の合唱曲での共演とすることが認められますが、可能な限り団体のレパートリーの中で対応してください。演奏プログラムの変更については、変更前に必ず御連絡ください。</p>	<p>外部(個人を含む)へ発注した場合 ●請求書 ●振込票</p>	文芸費の留意点を参照
舞台費 【消耗品費】	<p>※ 「出演希望調書」No.7で申請している費用以外の経費を計上する場合、及び1公演当たりの費目単価を引き上げて計上する場合は、理由書(様式任意)を提出してください。</p> <p>※ 衣装の制作代を計上することはできません。巡回公演中、公演終了後のメンテナンス費用(1回)については計上可能です。消耗品の対象範囲は、舞台上で使用される消耗品(消えもの、公演期間中の補修修理に係る一部部品の交換等)及びワークショップ教材用の消耗品に限ります。ただし、公演終了後、当該事業以外の目的で使用できるものは除きます。</p>	<p>外部(個人を含む)へ発注した場合 ●請求書 ●振込票</p> <p>※消耗品を購入する場合も請求明細等を取得するか、購入内容が確認できる形で領収書の発行をお願いしてください(明細内訳についてはレシートの提出を認めます)。ただし、宛名、但書きが抜けている場合は、経費の計上はできません。但書きに品名、数量、単価を記載してもらうことが困難な場合は、主たる支払内容及び当該事業名を必ず記載の上、御取得ください。併せて、購入内容のリスト(品名、数量、単価を記載)を提出してください。</p>	文芸費の留意点を参照
その他経費	<p>※ 新型コロナウイルス感染症予防対策に係る消耗品購入経費は、その他の経費に計上してください。</p>	<p>外部へ発注した場合 ●請求書 ●振込票</p> <p>※店舗で購入する場合も請求明細等を取得するか、購入内容が確認できる形で領収書の発行をお願いしてください(明細内訳についてはレシートの提出を認めます)。ただし、宛名、但書きが抜けている場合は、経費の計上はできません。但書きに品名、数量、単価を記載してもらうことが困難な場合は、主たる支払内容及び当該事業名を必ず記載の上、御取得ください。併せて、購入内容のリスト(品名、数量、単価を記載)を提出してください。</p>	<p>※ 備品の購入は認められないので御留意ください。三密(密集・密閉・密接)にならない工夫及び児童・生徒への体調面への配慮(熱中症対策、寒さ対策等)が必要である場合は、まずは学校側の設備の確認を行い、追加台数の配備が必要な場合に限り、借用等を検討してください。</p>

費目	見積時	精算時	計上に当たっての留意点
	■提出が必要な様式 ●提出が必要な根拠書類	■提出が必要な様式 ●提出が必要な証憑書類	
その他 経費		外部へ発注した場合 ●請求書 ●振込票	<p>※ 各実施校は、各団体の出演希望調書内の実施条件を満たしていることを条件に採択を受けています。事前連絡又は会場を下見(ワークショップ時)した際に、出演希望調書内の実施条件に記載した条件が整っていないことが判明した場合は、学校側と直接調整してください。会場条件が改善されず、公演に支障をきたす範囲である場合は、事務局へ御連絡ください。</p> <p>※ 特別支援学校等での実施に当たり、配慮すべき条件を整えるために、該当校についてのみ必要となる経費が発生する場合は、事前に事務局へ御連絡ください。</p>
ワーク ショップ 費	<p>■【様式2】キャスト表</p> <p>※ 指導時間を基準としてください。打合せ、準備、片付けの時間は除きます。</p> <p>ワークショップの指導者への謝金は下記のとおりです。 [主指導者]※1回につき1名まで 1回当たり 35,000円 [補助者]※1回につき5名まで 1時間当たり 5,100円</p> <p>※ 全体で6名まで ※ 支払い単位は1時間とし、1時間未満の端数については、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げとします。 ※ 1回当たりの上限 15,300円(3時間以上指導をした場合も3時間までが対象となります。)</p>	<p>■【様式2】キャスト表</p> <p>■【様式10】ワークショップ謝金・日当支払明細</p>	<p>※ ワークショップ材料費は文芸費に計上してください。</p> <p>※ ワークショップ謝金、日当については本事業の規定金額(単価)がありますが、各団体規定の金額(単価)が本事業の規定金額(単価)を超えない場合は、各団体規定の金額で計上することもできます(総額での比較ではなく、単価での比較となります)。</p>
プログラム 作成費		●請求書 ●振込票	<p>※ プログラムは印刷物とせず、実施校へプログラムデータを送付し、各実施校で印刷していただきます。</p> <p>※ プログラムデータの作成・送付方法等については「プログラムデータの作成について」(36, 37ページ)を御確認ください。学校への配布前に校正が必要となります。また、本事業のウェブサイトに掲出しますので、校正の完了後、事務局へデータを送信してください。</p>

費目	見積時	精算時	計上に当たっての留意点
	■提出が必要な様式 ●提出が必要な根拠書類	■提出が必要な様式 ●提出が必要な証憑書類	
運搬費	[団体所有車両を使用する場合]		※次の資料を必ずお読みください。 ・資料1: 団体所有車両又はレンタカーに関する経費について(28ページ) ・資料2: 自家用車に関する経費について(29ページ) ※【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表の記入については、44ページを御参照ください。 ※支給対象は、ワークショップ実施日、本公演実施日、準備日、本事業に係る移動日です(土日等、公演に要する使用が見込まれない日(空日)や車の一時的な出庫等に係る経費については支給しません)。
	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 ●使用する車両の自動車検査証の写し ●団員の個人名義であっても団体が車両経費(車検料、保険料等)を負担している場合は、自動車検査証の写しと、団体の負担経費が確認できる書類 ※次の経費を計上することができます。 ・車両使用料 ・ガソリン代 ・有料道路代 ・運転手当 ・駐車場代	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 [団体所有車両の使用に伴うガソリン代・有料道路代・駐車場代を計上する場合] ●引落明細書又は領収書 ●利用内容が確認できる明細書 [運転手が団体所属員以外の場合] ●振込票	
	[自家用車を使用する場合]		
	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 ※次の経費を計上することができます。 ・車賃1kmにつき37円 ・有料道路代	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 [自家用車の使用に伴う有料道路代を計上する場合] ●引落明細書又は領収書 ●利用内容が確認できる明細書 ※個人のETCカード等を使用した場合、実費が確認できる明細書と団体からの支出記録の提出が必要です。	
	[レンタカーを使用する場合]		
	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 ※次の経費を計上することができます。 ・レンタカー代 ・ガソリン代 ・有料道路代 ・運転手当 ・駐車場代	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 [レンタカーの使用に伴うガソリン代・有料道路代・駐車場代を計上する場合] ●振込票 ●利用内容が確認できる明細書	
	[運搬業者を使用する場合]		
		●請求書(運搬区間、請求内訳が明記されていること) ●振込票	

費目	見積時	精算時	計上に当たっての留意点
	■提出が必要な様式 ●提出が必要な根拠書類	■提出が必要な様式 ●提出が必要な証憑書類	
旅費 (交通費)	<p>※原則として公共交通機関を利用してください。移動経路の選択に当たっては、公演に支障をきたさない範囲で、最も効率的かつ経済的なルートを選択してください。</p> <p>※公共交通機関が設置されている区間において、経費面、効率面への配慮から、公共交通機関以外の移動方法を選択する場合は、【様式4】旅費算定基礎表の「理由」欄に理由を記入するか、別紙(任意様式)にて理由を届け出てください。</p> <p>※移動の起点は、事務所又は自宅の最寄駅とします。団体の支給基準に基づき計上してください。精算時までにはやむを得ない事情により起点を変更した場合も、事業費全体の見積上限額を超える金額については計上することはできません。</p> <p>※他公演からの移動について、交通費の対象は、通常の行程をとった場合の金額を超えない範囲を対象とします。また、実施後に他公演へ移動をする場合、公演終了後に発生する旅費は対象となりません(ただし、公演日程を組む段階で、すでに計上を認めている場合を除きます)。</p> <p>※旅行会社を利用して手配する場合、見積書についても必ず取得、保管してください。また、相見積を取得した場合は、相見積についても保管をお願いします。価格の適正を確認するために提出をお願いします。</p> <p>※立替え払いを挟む場合、立て替えた本人から交通機関又は宿泊施設へ代金を支払う際に取得した領収書と、団体から支出した記録書類両方を提出してください。</p> <p>※交通機関窓口で切符を購入する場合の内訳の未取得が多く見受けられます。購入の内訳については精算時に必ず確認をしますので、取得漏れ、控え漏れがないよう、団体内で事前連絡を徹底してください(内訳が不明の場合、計上できません)。</p> <p>※団体から実際に支出をしていない経費を計上することは認められません。証憑書類の提出が不要な場合も、各団体の基準に基づく支給に当たり必要な証憑書類については、5年間、管理、保管してください。</p> <p>※団体側の都合、計画不備によるキャンセル料・変更料は計上できません。天災、インフルエンザ等不可抗力により、やむを得ず行程を変更する場合は、4ページを参照の上、早急に必要な対応をとってください。</p> <p>※原則としてタクシーの利用料は計上できません。 ただし、これは利用を制限するものではありませんので、団体の判断により利用する場合は原則として一般管理費で対応していただきます。なお、交通事情等の理由により、やむを得ず利用が生じる場合は、事前に「タクシー利用代計上申請書」(任意様式)と検索サイト等で検索した「経路の地図」を御提出ください。審議の上、計上の可否をお知らせします。</p> <p>※公共交通機関がない地域を除き、移動日に移動のみの目的で利用するタクシー代を計上することはできません。利用する場合は一般管理費で対応してください。</p> <p>※ワークショップの旅費は6名まで計上することができます。</p>		

費目	見積時	精算時	計上に当たっての留意点
	■提出が必要な様式 ●提出が必要な根拠書類	■提出が必要な様式 ●提出が必要な証憑書類	
旅費 (交通費) 続き	[航空機を利用する場合]		※座席のクラスアップ料金の計上は認められません。 ※航空機を利用する場合は、原則として、「割引制度」を利用してください。
	■【様式4】旅費算定基礎表	■【様式4】旅費算定基礎表 [代理店を利用する場合] ●請求書(利用日, 利用人数, 利用区間, 単価が明記されているもの) ●振込票 [航空会社の窓口や手配サイトを利用して手配する場合] ●請求書又は手配明細書(利用日, 利用人数, 利用区間, 単価が明記されているもの) ●振込票又は領収書	
	[鉄道を利用する場合]		※特急列車に乗車する場合以外の近距離の鉄道運賃については、証憑書類の提出は不要です。 ※切符券面のコピーは証憑書類として認められません。
※特急利用についての規定は次のとおりです。 ・乗車距離(注1)が片道100キロメートル以上の場合の特急料金の計上が認められます。 ・乗車距離(注1)が片道100キロメートル未満であっても、別紙資料3(30ページ～33ページ)の区間(途中駅で乗車・下車する場合を除く)においては、特急料金の計上が認められます。 ・乗車距離(注1)が片道100キロメートル未満であり、別紙資料3(30ページ～33ページ)以外の区間において、特急を利用することで用務地での前泊又は後泊が避けられるなど、旅行日程が短縮でき、経済的な行程となる場合は、特急料金を計上することができます。 ・グリーン料金は計上できません。 (注1)乗車距離とは特急列車に連続して乗車している区間の距離を指します。2回以上特急を乗り継ぐ場合、合計100キロメートル以上であっても、1回の特急乗車区間が100キロメートル未満であれば、その特急料金は計上できません。			
	■【様式4】旅費算定基礎表	■【様式4】旅費算定基礎表 [代理店を利用する場合] ●請求書(利用日, 利用人数, 利用区間, 単価が明記されているもの) ●振込票 [鉄道会社の窓口や手配サイトを利用して手配する場合] ●領収書(但書きに購入内容の記載がないものについては、併せて申込書又は内訳明細書(利用日, 利用席数, 利用区間, 単価が明記されているもの)を添付してください。	

費目	見積時	精算時	計上に当たっての留意点
	■提出が必要な様式 ●提出が必要な根拠書類	■提出が必要な様式 ●提出が必要な証憑書類	
旅費 (交通費) 続き	[船舶を利用する場合] ※船舶を利用する場合は、次の代金の計上が認められます。 [旅客運賃(はしけ賃及び棧橋賃を含む)] 運賃の等級に関する規定は次のとおりです。 ・運賃の等級を3階級に区分する船舶の旅行については、中級の運賃 ・運賃の等級を2階級に区分する船舶の旅行については、下級の運賃 ・運賃の等級を更に2以上に区分する船舶の場合は、同一階級内の最上級の運賃 ・運賃の等級を設けない船舶の旅行については、その乗船に要する運賃 [寝台料金] 業務上の必要により別に寝台料金を必要とした場合は、運賃の他、現に支払った寝台料金 [座席指定料] 座席指定料を徴する船舶を利用する場合は、運賃の他、座席指定料金		※請求書が発行されない場合は、料金表等、購入内訳の参考となる書類を御提出いただくか、領収書の但書きに内訳の記載をお願いしてください。 ※切符券面のコピーは証憑書類として認められません。
	■【様式4】旅費算定基礎表	■【様式4】旅費算定基礎表 [代理店を利用する場合] ●請求書(利用日, 利用人数, 利用区間, 単価が明記されているもの) ●振込票 [船舶会社の窓口や手配サイトを利用して手配する場合] ●請求書又は購入内訳明細書(利用日, 利用席数, 利用区間, 単価が明記されているもの) ●振込票又は領収書	

費目	見積時	精算時	計上に当たっての留意点
	■提出が必要な様式 ●提出が必要な根拠書類	■提出が必要な様式 ●提出が必要な証憑書類	
旅費 (交通費) 続き	[団体所有車両を使用する場合]		※2キロメートル未満の移動のみを目的とする車両使用料については、原則として計上できません。利用する場合は一般管理費で対応してください。 ※車両に関する経費を計上する場合は、次の資料を必ずお読みください。 ・資料1: 団体所有車両又はレンタカーに関する経費について(28ページ) ・資料2: 自家用車に関する経費について(29ページ) ※【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表の記入については、44ページを御参照ください。 ※支給対象は、ワークショップ実施日、本公演実施日、準備日、本事業に係る移動日です(土日等、公演に要する使用が見込まれない日(空日)や車の一時的な出庫等に係る経費については支給しません)。 ※レンタカー、貸切バスで移動する場合、車両の大きさを十分に検討してください。 ※ガソリン代については、移動前日から帰着までに給油したものを対象とします(巡回日程と日付が離れているものは計上できません)。 ※高速道路代の計上に当たり、企業組合等で割引が適用される場合は、原則として割引後の金額を計上してください。割引後の金額が確認できる内訳書の有無等については、事前に割引の設置団体等へ御確認ください。
	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 ●使用する車両の自動車検査証の写し ●団員の個人名義であっても団体が車両経費(車検料、保険料等)を負担している場合は、自動車検査証の写しと、団体の負担経費が確認できる書類 ※次の経費を計上することができます。 ・車両使用料 ・ガソリン代 ・有料道路代 ・運転手当 ・駐車場代	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 [団体所有車両の使用に伴うガソリン代・有料道路代・駐車場代を計上する場合] ●引落明細書又は領収書 ●利用内容が確認できる明細書 [運転手が団体所属員以外の場合] ●振込票	
	[自家用車を使用する場合]		
	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 ※次の経費を計上することができます。 ・車賃1kmにつき37円 ・有料道路代	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 [自家用車の使用に伴う有料道路代を計上する場合] ●引落明細書又は領収書 ●利用内容が確認できる明細書 ※個人のETCカード等を使用した場合、実費が確認できる明細書と団体からの支出記録の提出が必要です。	
	[レンタカーを使用する場合]		
	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 ※次の経費を計上することができます。 ・レンタカー代 ・ガソリン代 ・有料道路代 ・運転手当 ・駐車場代	■【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表 [レンタカーの使用に伴うガソリン代・有料道路代・駐車場代を計上する場合] ●振込票 ●利用内容が確認できる明細書	

費目	見積時	精算時	計上に当たっての留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ■提出が必要な様式 ●提出が必要な根拠書類 	<ul style="list-style-type: none"> ■提出が必要な様式 ●提出が必要な証憑書類 	
旅費 (交通費) 続き	[貸切バスを使用する場合]		※運転手当やガソリン代を別途計上しない場合(業者からの請求に基づき計上する場合),【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表の提出は不要です。
	■【様式4】旅費算定基礎表	<ul style="list-style-type: none"> ■【様式4】旅費算定基礎表 ●請求書(移動日, 移動区間, 請求内訳が明記されていること) ●振込票 	
	[路線バスを使用する場合]		
	■【様式4】旅費算定基礎表	■【様式4】旅費算定基礎表	
	[高速バスを使用する場合]		※乗車券面のコピーは証憑書類として認められません。
	■【様式4】旅費算定基礎表	<ul style="list-style-type: none"> ■【様式4】旅費算定基礎表 ●領収書(但書きに購入内容の記載がないものについては, 併せて申込書又は内訳明細書(利用日, 利用席数, 利用区間, 単価が明記されているもの)を添付してください。 	
旅費 (日当)	■【様式4】旅費算定基礎表	<ul style="list-style-type: none"> ■【様式4】旅費算定基礎表 ■【様式9】本公演日当支払明細 ■【様式10】ワークショップ謝金・日当支払明細 	<ul style="list-style-type: none"> ※【様式4】に記入した1日の移動距離を基準に算定します。 ※日当の支給上限 [宿泊を要する日] 移動距離にかかわらず1日2,200円 [宿泊しない日] ・1日の移動距離が鉄道100キロメートル未満, 水路50キロメートル未満, 陸路25キロメートル未満の場合1日1,100円 ・それ以外の場合1日2,200円 ※ワークショップ時の日当は6名まで計上することができます。 ※舞台人件費に日当が含まれている場合, 重複する日について日当を計上することはできません。 ※【様式9】、【様式10】は支払明細となります。【様式4】の内容と一致していることを確認の上, 支払完了後に提出してください。

費目	見積時	精算時	計上に当たっての留意点
	■ 提出が必要な様式 ● 提出が必要な根拠書類	■ 提出が必要な様式 ● 提出が必要な証憑書類	
旅費 (宿泊費)	■【様式4】旅費算定基礎表 ※計上上限は宿泊地にかかわらず、1泊当たり9,800円です。 ※見積時までには手配が間に合わない場合、9,800円を計上することができますが、精算時は、9,800円又は実費のいずれか低い方を計上してください。9,800円を超える宿泊費については、一般管理費で対応してください。 ※ワークショップ時の宿泊費は6名まで計上することができます。	■【様式4】旅費算定基礎表 [個別に手配した場合] ●領収書(宿泊日, 単価, 泊数, 宿泊者名の記載を依頼してください。) [旅行代理店を利用した場合] ●請求書(事業名, 宿泊日, 単価, 泊数, 人数記載を依頼してください。 ●振込票	※宿泊費について、立替え払いを挟む場合、立て替えた本人から交通機関又は宿泊施設へ代金を支払う際に取得した領収書と、団体から支出した記録書類の両方を提出してください。
※公演日又は仕込み(準備)日前日の宿泊については、午前7時30分より前に出発点を出なければ公演の準備が整わない場合、また、公演後の宿泊については、当日中に帰点への帰着が困難な場合のみ計上を認めます。これらを計上する場合は、見積時に出発予定時刻、到着予定時刻、仕込みに要する時間、開演時間を明確に提示してください。なお、理由を提示した場合でも、事業全体を鑑み、計上をお断りする場合があります。			
費目	計上に当たっての留意点		
一般管理費	<ul style="list-style-type: none"> ●本事業分として経費の算定ができない光熱水費や事務費等の経費を便宜的に一般管理費として計上することができます。 ●一般管理費の上限額は、【様式1】見積書の公演費の小計(a)、派遣費(c)の小計のそれぞれ10パーセント以内です。なお、団体における直近の精算により算定した一般管理费率や受託規程に定める一般管理费率が、10パーセントを下回る場合は、それらを比較して最も低い率を乗じて算出してください。 ●ただし、前述により算出した金額よりも想定する経費が少ない場合には、採用した一般管理费率より低い率を乗じて一般管理費を計上することもできます。 ●やむを得ず再委託を行う際、業者の請求内容に一般管理費が含まれている場合は、委託費から再委託費を差し引いた額に一般管理費の率を乗じた額を計上してください。 		

7. その他の留意事項

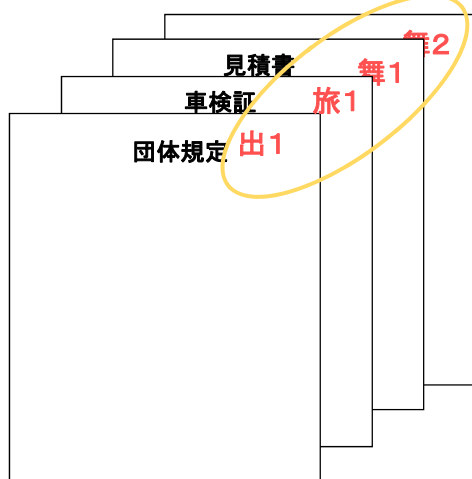
- 経費の計上には全て、根拠が必要になります。書類の提出がない場合や内訳が明確でない場合は、見積時に計上されていても認められない場合がありますので留意してください。
- 派遣費については、見積時に申告した経費であっても、精算時の精査により最終的に対象範囲を判断します。実績に基づき適切に計上してください。
- 【様式9・10】を除く証憑書類は全て、原本の写し(コピー可)を提出してください。
コピーした書類は、台紙(A4用紙)に貼付するなどA4サイズに揃え、資料番号を右肩に記入の上、提出してください。
- 請求書は支払いが証明できる書類(振込明細・通帳コピー・勘定元帳等)の写しを併せて提出してください。精算書類提出時に未払の経費がある場合は、【様式8】精算報告書(委託業務完了報告書)の支払日の欄へ予定日を記入し、支払が終わり次第、10営業日以内又は令和3年3月31日のいずれか早い日までに支払実績の写しを提出してください。

8. 根拠書類、証憑書類の取得について

- 請求書等の支払金額の証憑書類を必ず取得し、提出してください。
- 資料は必ず右肩に番号を記入し見積書、精算報告書の資料番号と一致させてください。
- 大道具費・小道具費・照明費・音響費等については、明細(内訳)も併せて提出してください。

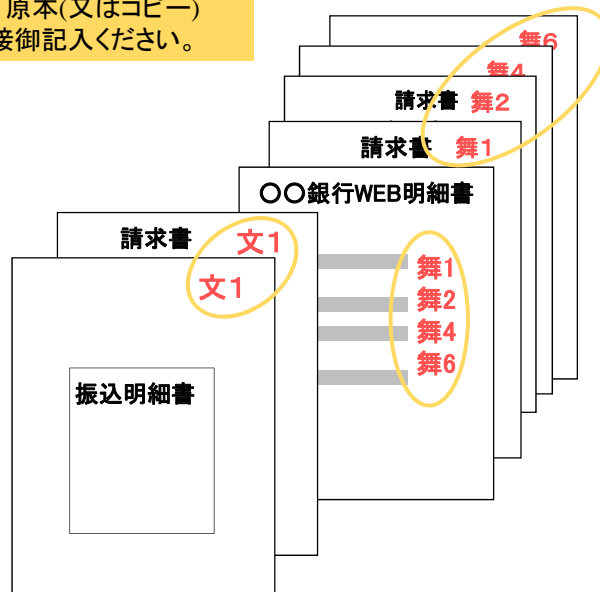
[資料番号のつけ方の例]

資料番号は、原本(又はコピー)の右肩に直接御記入ください。



見積書類提出時

※提出は不要です。



精算書類提出時

- 根拠書類、証憑書類については追加提出を求める場合もあります。書類の追加・差替の場合を考慮し、費目ごとに付番する等、工夫してください。(例: 文芸費→「文1」「文2」「文3」・・・, 舞台費→「舞1」「舞2」「舞3」・・・)
- 同一の経費については、見積から精算まで同じ番号を使用してください。
- 書類が差替えとなった場合も、番号は変更せず、「差替」と書き添えの上、提出してください。
(例: 文1の書類を差し替える場合→「文1差替」)

※上記は記入例です。事務局での書類精査を効率的に進めさせていただくためのお願いとなりますので、各団体の経理上の処理や、管理に支障のない範囲で対応してください。

9. 委託費執行に当たっての留意事項

原則として再委託は認められません。各制作団体から直接業者へ発注・支払を行ってください。
やむを得ず再委託を行う際、業者の請求内容に一般管理費が含まれている場合は、委託費から再委託費を差し引いた額に一般管理費の率を乗じた額を計上してください。

10. 精算報告書の提出と実地検査の実施

委託事業については、会計検査の対象となりますので、受託者(制作団体)において、会計検査院による検査が実施されることがあります。また、必要に応じて、文化庁が委託業務の実施状況、委託経費の使途、その他必要な事項について報告を求めるとともに、実地検査を行うことがあります。

受託者は委託業務の経費に関する支出を費目ごとに区分して記載するとともに、これらの関係書類について、委託業務を実施した翌年度から5年間保存する必要があります。

11. 不正行為に係る処分

経費の虚偽申請や過大請求等による委託経費の受給等、不正行為を行った場合には、採択の取り消し、委託経費の全部又は一部の返還、加算金の納付、不正行為の公表、委託経費の支払停止措置を行う場合があります。

また、平成22年9月16日付け文化庁長官決定に基づき、文化庁が芸術活動への支援等のために公募を行う事業への応募制限を行います。

芸術活動支援等事業において不正行為等を行った芸術団体等の応募制限について

平成22年9月16日
文化庁長官決定

文化庁が芸術活動への支援等のために公募により行う事業について、芸術団体等による支援金等の不正受給があった場合、下記のとおり応募制限を行う。

記

- (1)虚偽の申請や報告による支援金等の不正な受給、支援金等の他の事業・用途への流用、私的流用:応募制限期間4～5年
- (2)調査に応じない、調査に必要な書類の提出に応じない、その他文化庁の調査を妨害したと認められる場合:応募制限期間2～3年
- (3)文化庁以外の他の機関が行う支援事業において不正行為等を行ったことが判明した場合は、上記(1)、(2)に準じて取り扱う。

加えて、平成23年度に新たに文化庁が設置した「芸術文化に係る補助金等の不正防止に関する検討会」において、「芸術文化に係る補助金等の不正防止に関するまとめ」を取りまとめています。本事業に係る委託経費も対象となりますので、内容を熟読の上、適正な会計処理をしてください。

資料1 団体所有車両又はレンタカーに関する経費について

- 団体所有車両又はレンタカーを利用する場合については、次を参照の上、【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表を提出してください。

- 団体所有車両又はレンタカーを、運搬及び移動で使用する場合は、【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表を提出してください。計上できる経費は次のとおりです。

団体所有車両	ガソリン代 (実費)	+	有料道路代 (実費)	+	運転手当※	+	駐車場代	+	車両使用料
レンタカー	ガソリン代 (実費)	+	有料道路代 (実費)	+	運転手当※	+	駐車場代	+	レンタカー代

- ※ 運転手当は、運転する時間に対して1時間当たり1,050円を計上することができます。
ただし、運転者1人につき1日当たりの運転時間は4時間が上限となります。運転者名を備考欄に記入してください。
- ※ 運転手当は、区間ごとではなく1日の合計運転時間で計上してください。
例えば、午前中に40分間、午後40分間運転したのであれば合計80分間(1時間20分)。この場合の計上は1時間分の1,050円になります。(支払い単位は1時間とし、1時間未満の端数については、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げとします。ただし、全体で30分未満の場合は、1時間とみなします。) ガソリン代、有料道路代、運転手当については、見積書では概算の金額を計上してください(精算時には実費での計上となります)。
- 巡回公演実施期間中に開催地で必要となる駐車場代を計上することができます。
- 団体所有の車両使用料については下記のとおりです。

バス(乗用):定員で分類	
11~20名	1日当たり 13,000円
21名以上	1日当たり 23,000円
トラック(貨物):最大積載量で分類	
1t以下	1日当たり 4,000円
1t超~4t未満	1日当たり 7,000円
4t以上	1日当たり 16,000円
その他	
一律	1日当たり 4,000円

- ※ 支給対象は、ワークショップ実施日、本公演実施日、準備日、本事業に係る移動日です(土日等、公演に要する使用が見込まれない日については支給しません)。
- 団体所有車両として認められる車両は下記のとおりです。[]の書類を提出してください。
 - ◆ 自動車検査証の名義が団体名又は団体代表者名 [自動車検査証のコピー]
 - ◆ 団員の個人名義であっても団体が車両経費(車検料、保険料等)を負担している場合 [自動車検査証のコピー、団体の経費負担が確認できる書類]
 - ◆ 団体がリースしている車両 [自動車検査証のコピー、リース契約書のコピー]

資料2 自家用車に関する経費について

- 自家用車を使用する場合については、次を参照の上、【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表を提出してください。

- 自家用車を移動で使用する場合は、【様式5】車両行程表兼運転手当支払確認表を提出してください。計上できる経費は次のとおりです。

自家用車	移動1km当たり37円 × 移動距離(1km未満切捨て)	+	有料道路代 (実費)
------	------------------------------------	---	---------------

- 有料道路代については、見積書では概算の金額を計上してください(精算時には実費での計上となります)。
- 支給対象は、ワークショップ実施日、本公演実施日、準備日、本事業に係る移動日です(土日等、公演に要する使用が見込まれない日については支給しません)。
- 次の経費は計上できません。
 - ・ ガソリン代
 - ・ 駐車場代
 - ・ 運転手当

※原則として公共交通機関を使用してください。ただし、これによりがたい事情による場合は、自家用車の使用を認めます。

※学校内駐車スペースの確保については、事前に学校へ御相談ください。

資料3 片道100キロメートル未満の区間の鉄道における特別料金の支給対象

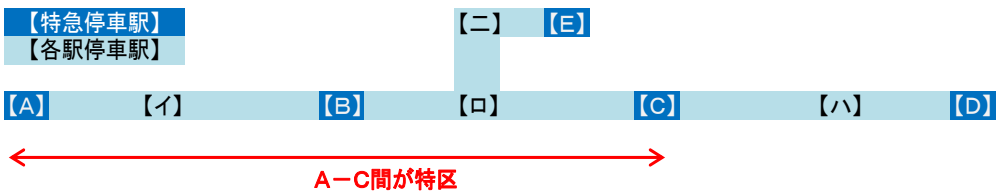
	区 間		区 間		区 間
1	函館 ～ 八雲	51	くりこま高原 ～ 北上	101	鶴岡 ～ 村上
2	新函館北斗 ～ 八雲	52	くりこま高原 ～ 新花巻	102	東京 ～ 小田原
3	新函館北斗 ～ 長万部	53	一ノ関 ～ 新花巻	103	東京 ～ 湯河原
4	八雲 ～ 洞爺	54	一ノ関 ～ 盛岡	104	東京 ～ 大月
5	八雲 ～ 伊達紋別	55	水沢江刺 ～ 盛岡	105	東京 ～ 小山
6	札幌 ～ 美唄	56	盛岡 ～ 二戸	106	東京 ～ 熊谷
7	札幌 ～ 砂川	57	盛岡 ～ 八戸	107	東京 ～ 本庄早稲田
8	札幌 ～ 滝川	58	盛岡 ～ 大曲	108	東京 ～ 石岡
9	札幌 ～ 白老	59	盛岡 ～ 角館	109	東京 ～ 八街
10	札幌 ～ 苫小牧	60	二戸 ～ 七戸十和田	110	東京 ～ 成東
11	札幌 ～ 追分	61	八戸 ～ 新青森	111	東京 ～ 横芝
12	札幌 ～ 新夕張	62	七戸十和田 ～ 奥津軽いまべつ	112	東京 ～ 八日市場
13	岩見沢 ～ 深川	63	青森 ～ 鷹ノ巣	113	東京 ～ 茂原
14	岩見沢 ～ 旭川	64	青森 ～ 大館	114	東京 ～ 上総一ノ宮
15	美唄 ～ 旭川	65	米沢 ～ 村山	115	東京 ～ 大原
16	砂川 ～ 旭川	66	赤湯 ～ 村山	116	東京 ～ 君津
17	滝川 ～ 旭川	67	赤湯 ～ 新庄	117	東京 ～ 木更津
18	旭川 ～ 白滝	68	山形 ～ 新庄	118	霞ヶ関 ～ 箱根湯本
19	旭川 ～ 土別	69	大曲 ～ 秋田	119	品川 ～ 小田原
20	旭川 ～ 名寄	70	大曲 ～ 雫石	120	品川 ～ 熱海
21	旭川 ～ 美深	71	秋田 ～ 東能代	121	品川 ～ 石岡
22	伊達紋別 ～ 苫小牧	72	秋田 ～ 鷹ノ巣	122	新横浜 ～ 熱海
23	東室蘭 ～ 苫小牧	73	秋田 ～ 象潟	123	新横浜 ～ 三島
24	東室蘭 ～ 南千歳	74	秋田 ～ 仁賀保	124	小田原 ～ 新富士
25	幌別 ～ 南千歳	75	秋田 ～ 田沢湖	125	小田原 ～ 静岡
26	登別 ～ 南千歳	76	秋田 ～ 角館	126	熱海 ～ 静岡
27	南千歳 ～ 占冠	77	八郎潟 ～ 鷹ノ巣	127	熱海 ～ 伊豆急下田
28	新札幌 ～ 新夕張	78	東能代 ～ 弘前	128	池袋 ～ 西武秩父
29	新得 ～ 池田	79	大館 ～ 新青森	129	新宿 ～ 大月
30	遠軽 ～ 北見	80	羽後本荘 ～ 鶴岡	130	新宿 ～ 箱根湯本
31	遠軽 ～ 美幌	81	羽後本荘 ～ 余目	131	三鷹 ～ 大月
32	北見 ～ 網走	82	羽後本荘 ～ 酒田	132	三鷹 ～ 塩山
33	名寄 ～ 音威子府	83	越後湯沢 ～ 長岡	133	三鷹 ～ 山梨市
34	幌延 ～ 南稚内	84	越後湯沢 ～ 燕三条	134	立川 ～ 塩山
35	幌延 ～ 稚内	85	越後湯沢 ～ 高崎	135	立川 ～ 山梨市
36	郡山 ～ 白石蔵王	86	浦佐 ～ 燕三条	136	立川 ～ 石和温泉
37	郡山 ～ 米沢	87	浦佐 ～ 上毛高原	137	立川 ～ 甲府
38	郡山 ～ 那須塩原	88	新井 ～ 柏崎	138	八王子 ～ 塩山
39	福島 ～ 仙台	89	新井 ～ 長岡	139	八王子 ～ 山梨市
40	福島 ～ 赤湯	90	上越妙高 ～ 長岡	140	八王子 ～ 石和温泉
41	福島 ～ かみのやま温泉	91	上越妙高 ～ 見附	141	八王子 ～ 甲府
42	福島 ～ 山形	92	上越妙高 ～ 黒部宇奈月温泉	142	八王子 ～ 竜王
43	福島 ～ 新白河	93	上越妙高 ～ 上田	143	八王子 ～ 韮崎
44	仙台 ～ くりこま高原	94	上越妙高 ～ 長野	144	上野原 ～ 甲府
45	仙台 ～ 一ノ関	95	直江津 ～ 長岡	145	大月 ～ 韮崎
46	仙台 ～ 浪江	96	直江津 ～ 見附	146	大月 ～ 小淵沢
47	古川 ～ 一ノ関	97	直江津 ～ 東三条	147	塩山 ～ 上諏訪
48	古川 ～ 水沢江刺	98	長岡 ～ 新潟	148	石和温泉 ～ 上諏訪
49	古川 ～ 北上	99	新潟 ～ 村上	149	甲府 ～ 富士
50	くりこま高原 ～ 水沢江刺	100	坂町 ～ 鶴岡	150	甲府 ～ 岡谷

	区 間		区 間		区 間
151	甲府 ~ 塩尻	201	館山 ~ 木更津	251	松本 ~ 長野
152	甲府 ~ 富士宮	202	館山 ~ 五井	252	安中榛名 ~ 上田
153	甲府 ~ 内船	203	館山 ~ 海浜幕張	253	安中榛名 ~ 長野
154	韭崎 ~ 松本	204	館山 ~ 蘇我	254	佐久平 ~ 長野
155	上野 ~ 小山	205	富浦 ~ 五井	255	佐久平 ~ 飯山
156	上野 ~ 石岡	206	富浦 ~ 海浜幕張	256	上田 ~ 飯山
157	東武動物公園 ~ 新桐生	207	富浦 ~ 蘇我	257	京都 ~ 日根野
158	大宮 ~ 宇都宮	208	岩井 ~ 海浜幕張	258	京都 ~ 関西空港
159	大宮 ~ 本庄早稲田	209	保田 ~ 海浜幕張	259	京都 ~ 綾部
160	大宮 ~ 高崎	210	浜金谷 ~ 海浜幕張	260	京都 ~ 福知山
161	大宮 ~ 新前橋	211	三島 ~ 静岡	261	京都 ~ 西舞鶴
162	大宮 ~ 前橋	212	新富士 ~ 掛川	262	新大阪 ~ 西明石
163	大宮 ~ 安中榛名	213	静岡 ~ 浜松	263	新大阪 ~ 姫路
164	小山 ~ 那須塩原	214	豊橋 ~ 名古屋	264	新大阪 ~ 海南
165	熊谷 ~ 軽井沢	215	豊橋 ~ 水窪	265	新大阪 ~ 和歌山
166	熊谷 ~ 安中榛名	216	豊橋 ~ 中部天竜	266	大阪 ~ 柏原
167	熊谷 ~ 佐久平	217	名古屋 ~ 米原	267	尼崎 ~ 柏原
168	本庄早稲田 ~ 軽井沢	218	名古屋 ~ 白川口	268	姫路 ~ 岡山
169	本庄早稲田 ~ 佐久平	219	名古屋 ~ 飛騨金山	269	姫路 ~ 和田山
170	高崎 ~ 長野原草津口	220	岐阜 ~ 下呂	270	姫路 ~ 八鹿
171	高崎 ~ 佐久平	221	岐阜 ~ 飛騨萩原	271	姫路 ~ 江原
172	高崎 ~ 上田	222	米原 ~ 武生	272	姫路 ~ 豊岡
173	北千住 ~ 足利市	223	米原 ~ 鯖江	273	姫路 ~ 竹田
174	北千住 ~ 太田	224	米原 ~ 福井	274	相生 ~ 岡山
175	浅草 ~ 太田	225	米原 ~ 京都	275	上郡 ~ 鳥取
176	柏 ~ 友部	226	高山 ~ 富山	276	岡山 ~ 福山
177	柏 ~ 水戸	227	長浜 ~ 福井	277	岡山 ~ 新尾道
178	柏 ~ 勝田	228	敦賀 ~ 芦原温泉	278	岡山 ~ 新見
179	水戸 ~ いわき	229	敦賀 ~ 京都	279	岡山 ~ 多度津
180	いわき ~ 相馬	230	武生 ~ 小松	280	岡山 ~ 観音寺
181	軽井沢 ~ 長野	231	武生 ~ 金沢	281	岡山 ~ 川之江
182	錦糸町 ~ 成東	232	鯖江 ~ 金沢	282	岡山 ~ 伊予三島
183	錦糸町 ~ 横芝	233	福井 ~ 松任	283	岡山 ~ 善通寺
184	錦糸町 ~ 八日市場	234	福井 ~ 金沢	284	岡山 ~ 琴平
185	錦糸町 ~ 旭	235	芦原温泉 ~ 金沢	285	岡山 ~ 阿波池田
186	錦糸町 ~ 佐原	236	小松 ~ 七尾	286	岡山 ~ 三原
187	千葉 ~ 八日市場	237	金沢 ~ 富山	287	岡山 ~ 大原
188	千葉 ~ 旭	238	金沢 ~ 黒部宇奈月温泉	288	倉敷 ~ 新見
189	千葉 ~ 銚子	239	金沢 ~ 七尾	289	新倉敷 ~ 新尾道
190	大網 ~ 安房鴨川	240	金沢 ~ 和倉温泉	290	新倉敷 ~ 三原
191	大原 ~ 海浜幕張	241	新高岡 ~ 黒部宇奈月温泉	291	福山 ~ 東広島
192	大原 ~ 蘇我	242	新高岡 ~ 糸魚川	292	新尾道 ~ 広島
193	御宿 ~ 海浜幕張	243	富山 ~ 糸魚川	293	宝塚 ~ 柏原
194	勝浦 ~ 海浜幕張	244	糸魚川 ~ 長野	294	宝塚 ~ 福知山
195	勝浦 ~ 蘇我	245	糸魚川 ~ 飯山	295	三田 ~ 福知山
196	上総興津 ~ 海浜幕張	246	上諏訪 ~ 信濃大町	296	新見 ~ 米子
197	上総興津 ~ 蘇我	247	塩尻 ~ 中津川	297	津 ~ 鶴方
198	安房小湊 ~ 海浜幕張	248	塩尻 ~ 長野	298	津 ~ 名張
199	安房小湊 ~ 蘇我	249	木曽福島 ~ 多治見	299	松阪 ~ 紀伊長島
200	安房鴨川 ~ 蘇我	250	松本 ~ 篠ノ井	300	松阪 ~ 尾鷲

	区 間		区 間		区 間
301	多気 ~ 尾鷲	351	高松 ~ 池谷	401	小倉 ~ 新鳥栖
302	新宮 ~ 白浜	352	高松 ~ 徳島	402	小倉 ~ 中津
303	紀伊勝浦 ~ 白浜	353	高松 ~ 阿南	403	小倉 ~ 柳ヶ浦
304	紀伊勝浦 ~ 紀伊田辺	354	高松 ~ 勝瑞	404	小倉 ~ 宇佐
305	串本 ~ 白浜	355	坂出 ~ 川之江	405	小倉 ~ 杵築
306	串本 ~ 紀伊田辺	356	坂出 ~ 伊予三島	406	折尾 ~ 中津
307	白浜 ~ 御坊	357	坂出 ~ 新居浜	407	香椎 ~ 行橋
308	白浜 ~ 海南	358	坂出 ~ 阿波池田	408	博多 ~ 筑後船小屋
309	紀伊田辺 ~ 海南	359	宇多津 ~ 阿波池田	409	博多 ~ 荒尾
310	紀伊田辺 ~ 和歌山	360	丸亀 ~ 新居浜	410	博多 ~ 新玉名
311	南部 ~ 和歌山	361	丸亀 ~ 壬生川	411	博多 ~ 佐賀
312	湯浅 ~ 天王寺	362	多度津 ~ 新居浜	412	博多 ~ 肥前山口
313	藤並 ~ 天王寺	363	観音寺 ~ 今治	413	博多 ~ 肥前鹿島
314	海南 ~ 天王寺	364	川之江 ~ 今治	414	博多 ~ 武雄温泉
315	和歌山 ~ 天王寺	365	伊予三島 ~ 今治	415	博多 ~ 有田
316	二条 ~ 綾部	366	新居浜 ~ 伊予北条	416	博多 ~ 行橋
317	二条 ~ 福知山	367	新居浜 ~ 松山	417	博多 ~ 日田
318	二条 ~ 東舞鶴	368	伊予西条 ~ 松山	418	博多 ~ 天ヶ瀬
319	二条 ~ 西舞鶴	369	壬生川 ~ 松山	419	鳥栖 ~ 武雄温泉
320	亀岡 ~ 綾部	370	今治 ~ 伊予大洲	420	鳥栖 ~ 早岐
321	亀岡 ~ 福知山	371	松山 ~ 八幡浜	421	鳥栖 ~ 佐世保
322	亀岡 ~ 東舞鶴	372	松山 ~ 卯之町	422	久留米 ~ 熊本
323	亀岡 ~ 西舞鶴	373	松山 ~ 宇和島	423	久留米 ~ 天ヶ瀬
324	亀岡 ~ 宮津	374	伊予市 ~ 宇和島	424	久留米 ~ 豊後森
325	園部 ~ 福知山	375	阿波池田 ~ 後免	425	久留米 ~ 由布院
326	園部 ~ 東舞鶴	376	阿波池田 ~ 高知	426	筑後船小屋 ~ 熊本
327	園部 ~ 西舞鶴	377	阿波池田 ~ 徳島	427	筑後船小屋 ~ 新八代
328	園部 ~ 宮津	378	阿波池田 ~ 阿波川島	428	新玉名 ~ 新鳥栖
329	綾部 ~ 城崎温泉	379	土佐山田 ~ 須崎	429	熊本 ~ 新水俣
330	福知山 ~ 豊岡	380	後免 ~ 須崎	430	熊本 ~ 出水
331	福知山 ~ 城崎温泉	381	高知 ~ 土佐久礼	431	熊本 ~ 新鳥栖
332	福知山 ~ 網野	382	高知 ~ 窪川	432	熊本 ~ 宮地
333	福知山 ~ 峰山	383	須崎 ~ 中村	433	熊本 ~ 豊後竹田
334	鳥取 ~ 伯耆大山	384	栗林 ~ 池谷	434	新八代 ~ 出水
335	鳥取 ~ 米子	385	栗林 ~ 徳島	435	新八代 ~ 川内
336	倉吉 ~ 松江	386	栗林 ~ 勝瑞	436	新水俣 ~ 鹿児島中央
337	米子 ~ 鳥取大学前	387	屋島 ~ 池谷	437	出水 ~ 鹿児島中央
338	松江 ~ 大田市	388	屋島 ~ 徳島	438	鹿児島中央 ~ 都城
339	出雲市 ~ 江津	389	志度 ~ 徳島	439	鹿児島中央 ~ 西都城
340	出雲市 ~ 浜田	390	徳島 ~ 日和佐	440	鹿児島 ~ 西都城
341	大田市 ~ 浜田	391	徳島 ~ 牟岐	441	新鳥栖 ~ 諫早
342	大田市 ~ 益田	392	三原 ~ 広島	442	新鳥栖 ~ 武雄温泉
343	益田 ~ 新山口	393	広島 ~ 徳山	443	新鳥栖 ~ 早岐
344	児島 ~ 伊予三島	394	新岩国 ~ 新山口	444	新鳥栖 ~ 佐世保
345	高松 ~ 観音寺	395	徳山 ~ 厚狭	445	佐賀 ~ 諫早
346	高松 ~ 川之江	396	新山口 ~ 新下関	446	佐賀 ~ 浦上
347	高松 ~ 伊予三島	397	新山口 ~ 津和野	447	佐賀 ~ 早岐
348	高松 ~ 阿波池田	398	新山口 ~ 小倉	448	佐賀 ~ 佐世保
349	高松 ~ 大歩危	399	新下関 ~ 博多	449	肥前山口 ~ 諫早
350	高松 ~ 板野	400	小倉 ~ 博多	450	肥前山口 ~ 長崎

区 間		区 間	
451	肥前鹿島 ～ 長崎	471	南延岡 ～ 南宮崎
452	中津 ～ 別府	472	南延岡 ～ 宮崎空港
453	中津 ～ 大分	473	日向市 ～ 宮崎
454	柳ヶ浦 ～ 別府	474	日向市 ～ 南宮崎
455	柳ヶ浦 ～ 大分	475	日向市 ～ 宮崎空港
456	宇佐 ～ 大分	476	宮崎 ～ 都城
457	別府 ～ 佐伯	477	宮崎 ～ 西都城
458	大分 ～ 佐伯	478	南宮崎 ～ 国分
459	大分 ～ 日田	479	新水前寺 ～ 豊後竹田
460	大分 ～ 天ヶ瀬	480	宮地 ～ 三重町
461	大分 ～ 豊後森	481	下今市 ～ 春日部
462	大分 ～ 宮地		
463	大分 ～ 豊後竹田		
464	津久見 ～ 日向市		
465	佐伯 ～ 延岡		
466	佐伯 ～ 日向市		
467	延岡 ～ 宮崎		
468	延岡 ～ 南宮崎		
469	延岡 ～ 宮崎空港		
470	南延岡 ～ 宮崎		

【図表:特区について】



[A] [C] [ハ]
 ・[A]～[ハ]まで乗車した場合は、[A]～[C]の区間については、特急料金の計上が認められます。

[A] [B]
 ・[A]～[B]まで乗車した場合は、特区の区間を超えていないので、特急を利用する場合は、一般管理費で対応してください。

[A] [B] [E]
 ・[A]～[E]まで乗車した場合は、特区の区間を超えていないので、特急を利用する場合は、一般管理費で対応してください。

[A] [C] [D]
 ・[A]～[D]まで乗車した場合は、[A]～[D]の区間について、特急料金の計上が認められます。

対象区間

【MEMO】

プログラムデータの作成について

1. プログラムデータの作成
2. 原稿作成上の注意点
3. プログラムデータの送付

プログラムデータの作成について

1. プログラムデータの作成

- プログラムは印刷物とせず、実施校へプログラムデータを送付し、各実施校で印刷していただきます。
- ① 下記の【プログラムの構成・仕様】、次ページの【作成例】を基準にして原稿を作成してください。

【プログラムの構成・仕様】

構成		下記の内容を必ず記載してください。
	表紙	事業名「令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」
		公演団体名
		公演種目
		事業概要(次ページ ※1参照)
		「文化庁」名及び文化庁のロゴマーク(次ページ ※2参照)
	裏表紙	団体紹介等
本文	種目・演目解説、鑑賞の手引き、用語解説等	
掲出任意	「国際音楽の日」について(次ページ ※3参照)	
仕様等	サイズ	A4版4ページ以内またはA3版2ページ以内

- ② プログラム原稿(データ)については文化庁で校正を行いますので、次の送信先へPDFデータ(又はFAX)にて提出してください。※発出予定日の2週間前までにお送りください。データの作成を外部へ発注する場合は、修正に要する日数を考慮し、余裕をもって提出してください。

【校正用データの送付先】 文化庁参事官(芸術文化担当)付学校芸術教育室芸術教育推進係
E-mail: artedu@mext.go.jp
FAX: 03-6734-3814

- ③ プログラムデータの校正完了後、事業専用ウェブサイトへプログラムデータを掲出しますので、公演開始日の1週間前までに校正後のデータを事務局へ送信してください。
なお、データのサイズは、1MB、350dpi程度としてください。

【掲出用データの送付先】 文化芸術による子供育成総合事業事務局—巡回公演事業—担当
E-mail: j2-kodomogeijutsu@gp.knt.co.jp
FAX: 03-6730-6006

2. 原稿作成上の注意点

- 作成に際し次の点に注意してください。
 - 鑑賞者の年齢層に配慮し、十分理解でき、かつ興味を示すような内容とする。
 - 文字は読みやすい大きさにする。
 - 小学生が対象の場合は必ずルビをつける(中学生の場合は難しい漢字のみ)。
 - 写真等を掲載する場合は、各実施校にて白黒印刷することを考慮する。

※ 鑑賞の手引き等の本文は、制作団体等で使用している既存の物がある場合は、極力活用してください。また、その使用に対する著作権については、児童・生徒への無料配布という趣旨から、著作権者へ無料としていただけるよう、交渉願います。なお、本文中の表現方法等を文化庁で多少変更する場合がありますので、その旨も著作権者に正確に伝えてください。

3. プログラムデータの送付

- プログラムは、本公演開始日の1週間前までに制作団体から実施校にメールで送付してください。
- 事務局へ送信いただいたデータは3営業日以内に事業専用ウェブサイトへ掲出しますので、ウェブサイトよりダウンロードをしていただくことも可能です。

【作成例】

【表】

令和2年度
文化芸術による子供育成総合事業
—巡回公演事業—

<公演団体名>

<〇〇公演>

(写真)

事業概要



【裏】

(演目紹介や団体紹介等)

※掲出位置の指定ではありません

※1 事業概要

ふんかげいじゆつ こども いくせいそごう じぎょう じゆんかいこうえんじぎょう
「文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—」

わ くに いちりゆう ふんかげいじゆつたんだい しょうがっこう ちゅうがっこう など こうえん こども すぐ ぶたいげいじゆつ かんしょう
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえんしどう また かんしょうしどう おこな じつえん こども
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

※2 文化庁ロゴマークデータについて

下記のURLよりダウンロードすることができます。使用規定を必ず御確認の上、掲出してください。

<https://www.bunka.go.jp/bunkacho/symbolmark/>

※3 「国際音楽の日」について(掲出任意)

し がつついたち こくさいおんがく ひ
知ってますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

ねん ようせい せつりつ こくさいおんがくひようぎかい かいぎ よくとし ねん まいとし がつついたち
1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、

せかい ひとびと おんがく つう たが なかよ こうりゆう ふか こくさいおんがく ひ
世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。

にほん ねん まいとし がつついたち こくさいおんがく ひ だ
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

【MEMO】

見積書・精算報告書関連 様式集

様式1

見積書

見積時の提出

必要

精算時の提出

不要

様式1

制作団体名: 公益財団法人〇〇交響楽団

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—見積書

☐内は、メディア芸術分野における計上項目

数字は **税込額を御記入ください。**

区分	項目	費目	人数	数量	単価	金額	支払先	算出根拠の種類	資料番号(備考)
公演費 (A)	出演費 【メインプログラムに係る人件費】	指揮者	1名	10回	110,000	1,100,000	〇〇	見積書	2
		ソリスト	2名	10回	77,000	1,540,000			
		楽団員(66名)	1式	10回	2,750,000	27,500,000			
		エキストラ	3名	10回	30,800	924,000			
		出演費合計					31,064,000		
	文芸費	ワークショップ教材費	1式	10校	2,750	27,500	各購入先	内訳試算表	3
						0			
						0			
		文芸費合計					0		
	音楽費 【借損料】	校歌編曲料	1曲	10校				見積書	4,5
		音楽著作権使用料	2曲	10校				内訳試算表	6
		音楽費合計							
	舞台費 【消耗品費】	音響人件費	2人	10校				見積書	7_A
		音響機材借料	1式	10校				見積書	7_B
		可燃み研下ろし人件費	2名	4回				団体規定	1_D
舞台費合計									
その他経費	平台借料	1式	2校				〇〇(株)	見積書	8
	感染予防対策費	1式					〇〇(株)	内訳試算表	11
	WS未実施校教材	1種	2校	46,200	92,400	〇〇△デザイン(株)	見積書	9	
	その他経費合計				201,600				
ワークショップ費	主指導者	1人	8校	35,000	280,000	各従事者	-	様式2, 様式3	
	補助者	5人	8校	15,300	612,000	各従事者	-	様式2, 様式3	
	ワークショップ費合計				892,000				
プログラム作成費	デザイン費				27,500	〇〇△デザイン(株)	見積書	10	
	プログラム作成費合計				27,500				
小計(a)						33,255,400			
派遣費 (B)	運搬費	楽器運搬費	1式	1	1,650,000	1,650,000	△運送(株)	見積書	【様式5】に係属
		運搬費合計				1,650,000			
	ワークショップ旅費	交通費	-			747,100			【様式4】に係属
		交通費(車両関係)	-			16,500			【様式5】に係属
		日当	-			66,000			【様式4】に係属
		宿泊費	-	1式	470,400	470,400	各宿泊施設	規定額	【様式4】に係属
	ワークショップ旅費合計				1,300,000				
	本公演(メインプログラム)旅費	交通費	-	1式	4,536,000	4,536,000	〇〇旅行(株), JR他	見積書, 料金検索表	【様式4】に係属
		交通費(車両関係)	-	1式	0	0			【様式5】に係属
		日当	-	1式	1,584,000	1,584,000	各従事者	規定額	【様式4】に係属
宿泊費		-	1式	5,880,000	5,880,000	〇〇旅行(株)	規定額	【様式4】に係属	
本公演旅費合計				12,000,000					
小計(b)						14,950,000			
一般管理費(c)						4,820,540			
合計 (A)+(B)=(a)+(b)+(c)						53,025,940			

概算払 要 不要

↑どちらかに○をつけてください。

* 青色の欄には計算式が設定されていますので入力しないでください。
 * 単価・金額欄には税込の金額を記入してください。
 * 欄が不足する場合は行を挿入してください。

様式2

キャスト表

見積時の提出
精算時の提出

必要
必要

様式2

制作団体の名：公益財団法人○○交響楽団

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—キャスト表

※団体様で定める起點に○をつけてください。

自宅	事務所	○			
ワークショップ	6名				
役職	氏名(署名)	所属	移動起點	派遣期間	合計
主指導者	g****	○○交響楽団	○	9/1 9/2 9/3 9/4 9/5	4
指導者	b****	○○交響楽団	○		1
指導者	d****	○○交響楽団	○		5
指導者	g****	○○交響楽団	○		5
指導者	d****	○○交響楽団	○		5
指導者	g****	○○交響楽団	○		5
合計					4

※団体の公演期間を記載の上、移動日は△、公演日(WS日)は○を記載してください。
1日にワークショップが複数回ある場合には回数を、メディア関連の場合は回目的のワークショップかを水色箇所に入力。

※主指導者は所属欄に◎をつけてください。

ワークショップ	スタッフ	名			
役職	氏名(署名)	所属	移動起點	派遣期間	合計
					0
合計	6	6	6	0	0

赤枠内の各セルに日付を記入してください。

青枠内の各セルは、各人ごとに、移動日は「△」、ワークショップ日又は公演日は「○」を選択してください。

本公演	出演者	72名			
メインプログラム	氏名(署名)	所属	移動起點	派遣期間	合計
指揮者	o o o	株(oo)	○△	10/4 10/5 10/6 10/7 10/8 10/9 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12	10
ソリストVc	oo	○○交響楽団	○		5
ソリストTr	△△	○○交響楽団	○		15
VI1	g****	○○交響楽団	○		15
VI1	g****	○○交響楽団	○		15
VI2	b****	エキストラ	△		5
VI2	b****	エキストラ	△		4
Perc	m**	○○交響楽団	○		1
合計					15

※団体の公演期間を記載の上、移動日は△、公演日(WS日)は○を記載して

本公演	スタッフ	3名			
メインプログラム	氏名(署名)	所属	移動起點	派遣期間	合計
制作スタッフ	oo △△	○○交響楽団	○	10/4 10/5 10/6 10/7 10/8 10/9 12/5 12/6 12/7 12/8 12/9 12/10 12/11 12/12	10
連絡業者	oo △△	△運送業	○		5
合計					15

※宿泊費のみ団体手配

* 所属の欄には「劇団員」「楽団員」「フリー」「業者名」等を記入してください。
* 人数欄にはワークショップ・本公演それぞれの1回あたりの合計人数を記入してください。
* 欄が不足する場合は行を削入してください。

人数は、ワークショップ・本公演それぞれの1回あたりの合計人数を記入してください。

所属は、「劇団員」、「楽団員」、「フリー」、「業者名」等を記入してください。

移動起點は、【様式4】と突合せ確認を行います。団体の事務所を起點とする場合は「事務所」、各個人の自宅を起點とする場合は、「自宅(最寄駅名)」を記入してください。

様式3

出演料内訳

見積時の提出	必要
精算時の提出	必要

様式3

制作団体名： 公益財団法人〇〇交響楽団

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業— 出演料・メインプログラムに係る人件費内訳

No.	ランク (役職)	氏名 (芸名)	単価	公演回数	合計	証憑書類 番号
1	指揮者	〇〇 〇〇	110,000	10回	1,100,000円	2
2	ソリストVc	〇〇	77,000	10回	770,000円	1_A振込1
3	ソリストHr	△△	77,000	10回	770,000円	1_A振込2
		楽団員(66名)	2,750,000	10回	27,500,000円	—
4	VI 1	a*** **	—	—	—	—
5	VI 1	f*** **	—	—	—	—
6	VI 1	g*** **	—	—	—	—
7	VI 1	h*** **	—	—	—	—
8		【様式2】の出演者名, 出演回数に一致	—	—	—	—
64	Tb	t** **	—	—	—	—
65	Tb	u** **	—	—	—	—
66	Tub	v** **	—	—	—	—
67	Perc	m** **	—	—	—	—
68	Perc	n** **	—	—	—	—
69	Perc	p** **	—	—	—	—
70	Fg	q** **	30,800	—	—	振込1
71	Fg	g*** **	30,800	5回	154,000円	1_C振込2
72	Tp	r** **	30,800	5回	154,000円	1_C振込3
				5回	154,000円	1_C振込4
				5回	154,000円	1_C振込5
				5回	154,000円	1_C振込6
				合計	31,064,000円	

【オーケストラの場合】
・団体直接雇用団員については
支払記録の提出は不要です。
※オーケストラ出演料一式として
いる場合は、精査時又は事業の完
了後に、計上金額の内訳及び支
出記録の開示を求める場合に
あります。

見積時には根拠書類の提出は不要
ですが、精算時には計上額の根拠と
なる資料(請求書, 団体規程等)およ
び支払記録書類の提出が必要です。
証憑書類の右上に資料番号を記載し
、1枚の資料内に複数の対象が含ま
れる場合は、枝番を附番の上、御提
出ください。

精算時証憑書類提出例

〇〇銀行ウェブダイレクト 2020/12/1~12/31

アカウント 〇〇交響楽団様

12月15日 お振込	〇〇銀行	〇〇支店	q** **	154,000	1	} 1-C
12月15日 お振込	〇〇銀行	〇〇支店	g*** **	154,000	2	
12月15日 お振込	〇〇銀行	〇〇支店	r** **	154,000	3	
12月15日 お振込	〇〇銀行	〇〇支店	s** **	154,000	4	
12月15日 お振込	〇〇銀行	〇〇支店	m** **	154,000	5	
12月15日 お振込	〇〇銀行	〇〇支店	g*** **	154,000	6	
12月22日 お振込	〇〇銀行	〇〇支店	機〇〇	1,650,000	2	内1,100,000円他件合算

1ページ/3ページ

【様式1】の出演料の合計に一致

様式4

旅費算定基礎表

見積時の提出	必要
精算時の提出	必要

日付	曜日	都道府県	会場名 (美術館名)	移動区間	交通機関名 (航空機・JR・私鉄・徒歩)	距離(km)	人数		交通費		資料番号	日当		宿泊地 都市名	宿泊料		資料番号	交通機関の有無	比較	備考①		
							単体	人数	単体	人数		単体	人数		単体	人数						
9月1日	火	秋田県	O市立A小学校	△△駅 ⇒ △△駅	私鉄	1,500	250	1,500	6	43,800	交1	2,200	6	13,200	7,500	6	45,000	宿1				
				△△駅 ⇒ □□駅	JR特急あり	320.0	4,500	6	2,800	6	0	0	0	0	0	0	0	0				
				□□駅 ⇒ A小学校	徒歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
		岩手県	O市立B小学校	□□駅 ⇒ □□駅	A小学校	徒歩	1,250	6	7,500	交1	0	0	0	0	0	0	0					
				□□駅 ⇒ B小学校	JR特急なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
				□□駅 ⇒ B小学校	徒歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
				□□駅 ⇒ □□駅	B小学校	徒歩	1,400	6	8,400	交2	0	0	0	0	0	0	0					
				□□駅 ⇒ ▲▲駅	JR特急なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
				▲▲駅 ⇒ ホテル	徒歩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
9月2日	水	岩手県	O市立C小学校	ホテル ⇒ ▲▲駅	徒歩	150.0	2,800	6	1,500	16,800	交2	0	0	6,800	6	40,800	宿2					
				▲▲駅 ⇒ ■■■駅	JR特急あり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
												465,000										
												447,100										

下に該当する場合は、確認が必要な事項を必ず備考①欄に記入してください。
 ・【様式2】に記入した移動起点とは異なる場所から移動する場合は理由を記入
 ・交通機関の選択欄で「その他」を選択した場合は利用する交通手段を記入

【見積時】
 公共交通機関以外を利用の場合は、各列に以下の点を記入してください。
 ・公共交通機関の有無
 ・公共交通機関がある場合は、公共交通機関利用時との金額比較
 ・公共交通機関以外を利用する理由
【精算時】
 ・見積精査時に、移動方法の見直しや理由の不足について指摘を受けた場合は、精算時までには再検討の上、修正をお願いいたします。内容の見直し後も理由や妥当性について明確な説明が得られない場合、計上は認められません。

【精算時】
 ・添付する資料の資料番号を記入してください。同一の資料内に複数の経費が含まれる場合は枝番をつける等、計上金額と係属する箇所を明確に示してください。
 ・計上にあたり証書類の添付を必要とする箇所については、21ページ～25ページを参照してください。

【見積時、決算時共通】
 ・貸切バスや自動車の場合には人数ではなく台数をご記入ください。

下記の項目を選択することができます。
 ・航空機
 ・JR特急あり
 ・JR特急なし
 ・私鉄
 ・船
 ・路線バス
 ・団体所有車両
 ・自家用車
 ・レンタカー
 ・貸切バス大型
 ・貸切バス中型
 ・貸切バス小型
 ・マイクロバス
 ・徒歩
 ・その他

下記の場合は距離も記入してください。
 ・車両を利用する場合
 ・特急料金を計上する場合
 ・宿泊のない日に日当2,200円を計上する場合

【見積時、決算時共通】
 ・自動計算式が設定されていますが、最終的に各項目ごとに全ての値が足し上げられているか確認の上、提出してください。
 ・団体所有車両、レンタカー、自家用車に係る経費を計上する場合は、【様式5】についても記入が必要です。

【見積時】
 ・【様式4】の各摘要の合計金額を【様式1】「旅費」欄へ転記してください。

【決算時】
 ・見積時から旅程の変更があった場合は、該当箇所を更新の上、【様式4】を作成してください。WS時の経路確認(下見)時に発覚した現地状況や、前後の業務との兼ね合いによりやむを得ず生じる移動方法や前日の宿泊の有無等の変更については、精算時の報告を確認し計上の可否を判断します。日程変更については予め学校から日程変更届を提出していただく必要がありますので、該当の事項が生じた場合は事務局まで至急に御連絡ください。
 ・変更が生じた場合はあわせて【様式2】についても更新が必要です。
 ・【様式4】の各摘要の合計金額を【様式8】「旅費」欄へ転記してください。

制作団体名：公益財団法人○○文藝集団
 令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—旅費算定基礎表

様式5

車両行程表兼運転手当 支払確認表

見積時の提出

必要

精算時の提出

必要

<input checked="" type="radio"/> ワークショップ	本公演・メインプログラム
<input type="radio"/> 運搬	レンタカー
<input type="radio"/> 移動	団体所有車両
	自家用車

制作団体名：公益社団法人〇〇交響楽団
令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—車両行程表兼運転手当支払確認表

様式5

日付	会場名 (実施校名)	出発地	到着地	距離(km)	レンタカー代 車両使用料	資料 番号	ガソリン代	資料 番号	有料道路代	資料 番号	運転手当		備考(運転者氏名)
											時間	手当	
9月3日 木	移動日	秋田空港	〇〇市	20.0km	2,000	WS車1	600	WS車2		WS車3	1	1,050	e*** ***(2)
9月4日 金	〇〇県立F支援小学校	〇〇市	F支援小学校	15.0km	5,000	WS車1	1,450	WS車2		WS車3	4	4,200	e*** ***(2)
	〇〇県立G小学校	F支援小学校	G小学校	25.0km								0	d*** ***(2)
		G小学校	秋田空港	65.0km					900	WS車2		0	
												0	
												0	
												0	
												0	
												0	
												0	
												0	
												0	
												0	
												0	
												0	
												0	
				125.0km	7,000		2,250		900		5	5,250	
											6	1,100	
													車両経費合計：16,500

車両1台につき1枚作成してください。

・見積時は【様式1】「交通費(車両関係)」欄、精算時は【様式8】「交通費(車両関係)」欄へ車両経費合計額を転記してください。

・自動計算式が設定されていますが、最終的に各項目ごとに全ての値が足し上げられているか確認してください。

自家用車での移動・運搬については、ガソリン代、運転手当、駐車場代の計上はできません。

【精算時】
・添付する資料の資料番号を記入してください。同一の資料内に複数の経費が含まれる場合は枝番をつける等、資料内のどの部分を参照すればよいかを明確に示してください。
・計上にあたり、レンタカー代、ガソリン代、駐車場代、有料道路代については証憑書類の提出が必要です。

運転手当確認表			
運転者氏名	合計時間	運転者氏名	運転手当支払額
1 e*** ***(2)	3	4	3,150円
2 d*** ***(2)	2	5	2,100円
3		6	0円

*青色の欄には計算式が設定されていますので入力しないでください。

様式7

公演完了報告書

見積時の提出	不要
精算時の提出	必要

様式7

令和 3 年 1 月 15 日

文化庁参事官(芸術文化担当)付
 学校芸術教育室芸術教育推進係
 (株)近畿日本ツーリスト首都圏 御中

全公演完了後に発行してください。

公演完了報告書

令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業」
 一巡回公演事業—が下記のとおり完了しましたので報告いたします。

種目を選択してください。

種 目	オーケストラ等
-----	---------

本公演実施日		実施校名	決定通知 文書番号	ワークショップ対応方法
令和2年10月5日	月曜日	〇〇市立A小学校	第〇号	オンライン9/1
令和2年10月6日	火曜日	〇〇市立B中学校	第〇号	オンライン9/4
令和2年10月7日	水曜日	〇〇市立C中学校	第〇号	短縮
令和2年10月8日	木曜日	△市立D小学校	第〇号	短縮
令和2年10月9日	金曜日	△市立E小学校	第〇〇号	通常
令和2年12月7日	月曜日	〇〇県立F支援学校	第〇〇号	通常
令和2年12月8日	火曜日	〇△町立G小学校	第〇号	教材送付
令和2年12月9日	水曜日	△〇町立H小学校	第〇号	短縮
令和2年12月11日	金曜日	〇△町立I小学校	第〇号	教材送付
令和3年1月15日	金曜日	△△市立J中学校	第〇号	通常

学校名は省略表記とせず、決定通知に記載されている正式な学校名を記入してください。

日付を記入すると曜日が自動的に記入されます。
 ※和暦に関しまして、年をまたぐ場合はご注意ください。

決定の通知を受けた文書番号(数字)を記載してください。

※令和2年度のみ記載項目とします。「通常実施」、「短縮実施」、「オンライン実施」の場合は、【様式4】の備考又は別紙に実際の指導時間を記載してください。

制作団体所在地 東京都〇〇区〇〇-1-2-3

制作団体 公益財団法人〇〇交響楽団

代表者 〇〇 〇〇〇

印
 印

様式8

精算報告書 (委託業務完了報告書)

見積時の提出	不要
精算時の提出	必要

様式8

制作団体名：公益財団法人〇〇交響楽団

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—精算報告書(委託業務完了報告書)

【総括表】

自動計算式が設定されています。

	見積金額	実支出額	差引額
公演費	33,255,400	33,075,159	-180,241
派遣費	14,950,000	14,710,494	-239,506
一般管理費	4,820,540	4,778,565	-41,975
支出計	53,025,940	52,564,218	-461,722
収入計	0	0	0
差引額	53,025,940	52,564,218	-461,722

プルダウンリストから採択時の区分を選択してください。

【様式3】の出演費の合計を入力してください。

項目(出演費・メインプログラムに係る) 単位(円), 税込み

区分	内訳別添	合計金額	発注日	引取年月日	支払年月日
当初	様式2, 様式3	31,064,000	2020/7/1	2021/1/15	2021/1/31
		31,064,000			

【様式10】のワークショップ費の合計を入力してください。

項目(ワークショップ費(指導謝金)) 単位(円), 税込み

区分	内訳別添	合計金額	発注日	引取年月日	支払年月日
当初	様式2, 様式10	739,000	2020年7月5日	2020年9月5日	2020年10月1日
		739,000			

項目(文芸費、音楽費・借損料、舞台費・消耗品費、その他経費、プログラム作成費、運搬費) 数字は左側(黄色欄)に御記入ください。

区分	見積時の計上項目	品名	摘要	人数	数量	単価	金額
当初	文芸費	ワークショップ教材費	株〇〇商店	1 式	1 -	6,827	6,827
当初	文芸費	ワークショップ教材費	〇〇ネット株	1 式	1 -	12,982	12,982
当初	音楽費・借損料	校歌編曲料	〇△	1 曲	10 校	27,500	275,000
当初	音楽費・借損料	音楽著作権使用料	JASRAC	1 曲	10 校	2,200	22,000
当初	舞台費・消耗品費	音響人件費	株△音響	2 人	10 校	16,500	330,000
当初	舞台費・消耗品費	音響機材借料	株△音響	1 式	10 校	27,500	275,000
当初	舞台費・消耗品費	荷積み荷下ろし人件費	〇川〇太	1 名	6 回	9,350	56,100
当初	舞台費・消耗品費	荷積み荷下ろし人件費	〇村〇介	1 名	6 回	9,350	56,100
当初	その他経費	平台借料	〇〇舞台株	1 式	2 校	39,600	79,200
当初	プログラム作成費	デザイン費	〇△デザイン株	1 式	1 -	27,500	27,500
当初	その他経費	WS未実施校教材作成費	〇△デザイン株	1 種	2 校	39,600	79,200
当初	運搬費	楽器運搬費(10月分)	△運送株	1 式	1 -	877,778	877,778
当初	運搬費	楽器運搬費(12月,1月分)	△運送株	1 式	1 -	761,118	761,118
当初	その他経費	消毒液購入代(感染症予防対策)	株〇〇薬局	1 式	1 -	52,250	52,250
							2,911,055

プルダウンリストから見積時の計上項目選択してください。

項目(旅費) 単位(円), 税込み

区分	対象	従事期間	内訳別添	内訳別添内該当項目	合計金額	支払年月日
当初	ワークショップ	2020/9/1~2020/9/5	様式2, 様式4	WS交通費	747,100	2020/9/5
			様式2, 様式4, 様式10	WS日当	66,000	2020/9/5
			【様式5】合計金額を記入		468,000	2020/9/4
			様式2, 様式5	WS車両交通費	16,500	2020/9/2
当初	本公演	2020/10/4~2021/1/15	様式2, 様式4	本公演交通費	4,423,821	2021/1/15
			様式2, 様式4, 様式9	本公演日当	1,584,000	2021/1/15
			様式2, 様式4	本公演宿泊費	5,770,280	2021/1/14
			様式2, 様式5	本公演車両交通費	0	-
			【様式4】の各摘要合計額を記入		13,075,701	

様式8

精算報告書 (委託業務完了報告書)

見積時の提出	不要
精算時の提出	必要

見積金額確定通知で確定を受けた金額を記入してください。

【見積決算比較表】

区分	項目	見積確定額		決算金額	差引額
		当初	追加		
公演費	出演料・メインプログラムに係る人件費	31,064,000		31,064,000	0
	文芸費	27,500		19,809	7,691
	音楽費・借損料	363,000		297,000	66,000
	舞台費・消耗品費	679,800		717,200	-37,400
	ワークショップ費	892,000		739,000	153,000
	その他経費	201,600		210,650	-9,050
	プログラム作成費	27,500		27,500	0
	合計	33,255,400		33,075,159	-180,241
派遣費	運搬費	1,650,000		1,638,896	11,104
	WS交通費	747,100		747,100	0
	WS日当	66,000		66,000	0
	WS宿泊費	470,400		468,000	2,400
	WS車両交通費	16,500		12,397	-4,103
	本公演交通費	4,536,000		4,423,821	112,179
	本公演日当	1,584,000		1,584,000	0
	本公演宿泊費	5,880,000		5,770,280	109,720
	本公演車両交通費	0		0	0
合計	14,950,000		14,710,494	-239,506	
一般管理費合計10%以内		4,820,540		4,778,565	-41,975
支出合計		53,025,940		52,564,218	-461,722
収入		0		0	0
差引合計額		53,025,940		52,564,218	-461,722

単位(円), 税込み

発注日	引取年月日	支払年月日	資料番号	(備考)
2020/7/1	2020/7/5	2020/7/30	請1 振1_1	
2020/7/1	2020/7/5	2020/7/30	請2 振1_2	
2020/7/1	2021/1/15	2021/1/30	請3 振4_1	
2020/9/1	2021/1/16	2021/1/30	請4 振4_2	
2020/9/1	2021/1/17	2021/1/30	請5 振4_3	
2020/9/1	2021/1/18	2021/1/30	請6 振4_4	
2020/9/1	2021/1/16	2021/1/30	請7 振4_5	
2020/9/1	2021/1/16	2021/1/30	請8 振4_6	
2020/9/1	2021/1/18	2021/1/30	請9 振4_7	
2020/7/1	2020/7/5	2020/7/30	請10 振1_3	
2020/7/1	2020/8/30	2021/2/7	請11 振5_2	
2020/9/1	2020/10/9	2020/11/30	請12 振3_1	
2020/10/1	2021/1/15	2021/2/1	請13 振5_1	
2020/9/28	2020/9/28	2020/9/28	請14 振2_1	

※精算時には、支払(計上)金額の根拠となる書類と、支払記録の提出が必要です。該当箇所をマークするあるいは枝番を振るなどし、該当箇所を明確に示してください。

※支払証憑について合算払いや預源泉税等の理由により、支払記録書類内の金額と一致しない場合は、内訳を示すなどし、差額が生じる理由を示してください。

- * 青色の欄には計算式が設定されていますので入力しないでください。
- * 緑色の欄には選択項目を設定しています。プルダウンリストから該当項目を選択してください。
- * 単価・金額欄には税込の金額を記入してください。
- * 欄が不足する場合は行を挿入してください。

【発注日】
・契約日
・依頼日
・発注日

【引取年月日】
・最終業務完了日
・最終納品日

【支払年月日】
・最終振込日
・最終代金支払日
・最終仮払精算日

※決定通知日(契約開始日)前に発生した経費については、計上が認められません。
※原則として、前払は認められません。やむを得ず前払いが発生する場合は、理由及び業務完了についての確認方法を併せてお知らせください。

様式9

本公演日当支払明細

見積時の提出

不要

精算時の提出

必要

様式9

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—
本公演・メインプログラム日当 支払明細

発行日: 令和2年 12月 15日

制作団体所在地: 東京都〇〇区〇〇-1-2-3

制作団体: 公益財団法人〇〇交響楽団

代表者: 〇〇 〇〇〇

印

令和3年1月15日付で下記のとおり支払いました。

本公演日当 合計 1,584,000円

【内訳】

氏名	本公演・メインプログラム日当(計上日数)				本公演・メインプログラム日当(合計)	
	2,200円		1,100円			
〇〇 〇〇	15	日		日	33,000	円
〇〇	15	日		日	33,000	円
△△	15	日		日	33,000	円
a*** **	15	日		日	33,000	円
g*** **	15	日		日	33,000	円
VI 1	15	日		日	33,000	円
VI 1	15	日		日	33,000	円
*****	15	日		日	33,000	円
*****	支払対象者及び従事回数は、【様式2】内、 本公演の従事実績内訳表に一致				33,000	円
*****					33,000	円
*****					33,000	円
*****	15	日		日	33,000	円
*****	15	日		日	33,000	円
*****	15	日		日	33,000	円
*****	15	日		日	33,000	円
*****	15	日		日	33,000	円
*****	15	日		日	33,000	円
*****	15	日		日	33,000	円
*****	15	日		日	33,000	円
*****	15	日		日	33,000	円
i*** **	9	日		日	19,800	円
k*** **	6	日		日	13,200	円
〇〇 △△	15	日		日	33,000	円
合計					1,584,000	

【様式4】、【様式8】の本公演旅費「日当」の額に一致

【MEMO】

**「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」
実施団体一覧**

ブロック	区分採択	分野	種目	制作団体名	公演団体名	郵便番号 (制作団体)	所在地 (制作団体)
A 北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 福島県 仙台市	B	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団	東京フィルハーモニー交響楽団	163-1408	東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F
	A	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団	新日本フィルハーモニー交響楽団	130-0013	東京都墨田区錦糸1-2-3 すみだトリフォニーホール7階
	A	音楽	音楽劇	公益財団法人 日本オペラ振興会	藤原歌劇団	150-0001	東京都渋谷区神宮前4-3-15 東京セントラル表参道317号
	A	演劇	児童劇	有限会社 劇団あとむ	有限会社 劇団あとむ	169-0051	東京都新宿区西早稲田1-4-18 稲穂ビル202
	A	演劇	児童劇	有限会社 劇団角笛	有限会社 劇団角笛	176-0014	東京都練馬区豊玉南2-22-6
	A	演劇	演劇	一般社団法人 演劇集団ワンダーランド	一般社団法人 演劇集団ワンダーランド	160-0023	東京都新宿区西新宿7-18-13 ハイム大成ビル203
	A	演劇	ミュージカル	株式会社 オールスタッフ	ミュージカルカンパニーイツフオーリーズ	111-0051	東京都台東区蔵前2-4-5 K-FRONTビル8F
	A	舞踊	現代舞踊	有限会社 マジェスティック	平富恵スペイン舞踊団	115-0055	東京都北区赤羽西4-21-22
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	株式会社 万作の会	万作の会	112-0014	東京都文京区関口2-2-7
	A	伝統芸能	邦楽	有限会社 古典空間	邦楽囃子方集団 若獅子会	151-0062	東京都渋谷区元代々木町10-2 西俣ビル1F
A	伝統芸能	演芸	株式会社 影向舎	めばえ寄席「〇〇亭」	243-0005	神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号	
B 山形県 福島県 栃木県 群馬県 埼玉県 さいたま市	A	音楽	合唱	株式会社 東京合唱協会	東京合唱協会	178-0063	東京都練馬区東大泉3-22-15 シンフォニープラザ2F
	A	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 仙台フィルハーモニー管弦楽団	仙台フィルハーモニー管弦楽団	980-0012	宮城県仙台市青葉区錦町1丁目3-9
	A	音楽	オーケストラ等	一般社団法人 ジャパン・シンフォニック・ウインド	シエナ・ウインド・オーケストラ	160-0022	東京都新宿区新宿1-24-7 ルネ御苑プラザ420
	A	演劇	児童劇	有限会社 劇団風の子北海道	有限会社 劇団風の子北海道	001-0027	札幌市北区北27条西11丁目5-7
	A	演劇	児童劇	有限会社 劇団かかし座	有限会社 劇団かかし座	224-0026	神奈川県横浜市都筑区南山田町4820-1
	A	演劇	演劇	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	特定非営利活動法人 劇場創造ネットワーク	166-0002	東京都杉並区高円寺北2-1-2
	B	演劇	ミュージカル	株式会社 東京演劇集団 風	東京演劇集団 風	164-0003	東京都中野区東中野1-2-4
	A	舞踊	バレエ	公益財団法人 スターダンサーズ・バレエ団	スターダンサーズ・バレエ団	107-0062	東京都港区南青山2-22-4
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 梅若研究会	公益財団法人 梅若研究会	151-0066	東京都渋谷区西原1丁目4番2号
	A	伝統芸能	邦楽	有限会社 アートウィル	東京打撃団(和太鼓)	158-0082	東京都世田谷区等々力5-15-3
A	伝統芸能	演芸	公益財団法人 落語芸術協会	日本講談協会	160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F	
A	メディア芸術	メディアアート等	WOW 株式会社	WOW	150-0041	東京都渋谷区神南1-14-3	
C 茨城県 千葉県 東京都 山梨県 千葉市	A	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 東京交響楽団	東京交響楽団	169-0073	東京都新宿区百人町2-23-5
	A	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 札幌交響楽団	札幌交響楽団	064-0931	札幌市中央区中島公園1番15号 (札幌コンサートホール内)
	A	音楽	オーケストラ等	公益社団法人 大阪フィルハーモニー協会	大阪フィルハーモニー交響楽団	557-0041	大阪市西成区岸里1-1-44
	A	演劇	児童劇	一般社団法人 劇団野ばら	一般社団法人 劇団野ばら	203-0012	東京都東久留米市浅間町2-9-8
	A	演劇	演劇	株式会社 テランセラ	カンパニーテランセラ	113-0034	東京都文京区湯島2-4-3-808
	A	演劇	ミュージカル	株式会社 劇団ポプラ	劇団ポプラ	105-0021	東京都港区東新橋2-18-2 グラティート汐留2F
	A	舞踊	現代舞踊	特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベイト	特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベイト	227-0062	神奈川県横浜市青葉区青葉台2丁目6-15 ベルグレイス青葉台807
	B	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 大槻能楽堂	公益財団法人 大槻能楽堂	540-0005	大阪府大阪市中央区上町A番7号
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	株式会社 アンエンターテイメント	大蔵流狂言	106-0041	東京都中央区銀座7-13-6サガミビル2階
	A	伝統芸能	邦楽	株式会社 三八屋	津軽三味線 あべや	123-08/1	東京都足立区橋2丁目23-15
A	伝統芸能	邦舞	株式会社BOX4628	沖縄伝統踊「子の会」	171-0014	東京都豊島区池袋3-1-12-702	
A	メディア芸術	メディアアート等	WOW 株式会社	WOW	150-0041	東京都渋谷区神南1-14-3	
D 神奈川県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 横浜市 川崎市 相模原市 静岡市 浜松市 名古屋市	A	音楽	合唱	公益財団法人びわ湖芸術文化財団	びわ湖ホール声楽アンサンブル	520-0806	滋賀県大津市打出浜15-1
	A	音楽	オーケストラ等	一般社団法人 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	一般社団法人 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	135-0002	東京都江東区住吉一丁目19番1号
	A	音楽	オーケストラ等	特定非営利活動法人 中部フィルハーモニー交響楽団	中部フィルハーモニー交響楽団	485-0041	愛知県小牧市小牧2-107 小牧市市民会館内
	A	音楽	オーケストラ等	学校法人 大阪音楽大学	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	561-8555	大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号
	B	演劇	児童劇	有限会社 ひとみ座	人形劇団ひとみ座	211-0035	神奈川県川崎市中原区井田3-10-31
	A	演劇	児童劇	株式会社 ともしび	オペレッタ劇団ともしび	171-0033	東京都豊島区高田1-12-17
	A	演劇	演劇	株式会社 劇団芸優座	株式会社 劇団芸優座	182-0025	東京都調布市多摩川2-28-4
	A	演劇	ミュージカル	有限会社 オペリアターこんにゃく座	オペリアターこんにゃく座	214-0021	神奈川県川崎市多摩区宿河原7-14-1
	A	舞踊	バレエ	株式会社 B・ジャンブルウエスト	バレエジャンブルウエスト	192-0902	東京都八王子市上野町104-16
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 梅若会	公益財団法人 梅若会	164-0003	東京都中野区東中野2-6-14
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	株式会社 伝統芸能オフィス	一般社団法人 三宅狂言会	221-0822	神奈川県横浜市神奈川区西神奈川1-15-2 バーンナル・ハイツ東日楽101
	A	伝統芸能	邦楽	株式会社 アート・メディア・オフィス	邦楽グループ「玉手箱」	157-0067	東京都世田谷区喜多見6-4-13-201
	A	伝統芸能	邦舞	株式会社舞踊集団菊の会	舞踊集団菊の会	161-0031	東京都新宿区西落合2-21-23
	A	伝統芸能	演芸	カンジャマ・マイム	カンジャマ・マイム	186-0001	東京都国立市北2-27-15
A	メディア芸術	メディアアート等	WOW 株式会社	WOW	150-0041	東京都渋谷区神南1-14-3	

ブロック	区分 採択	分野	種目	制作団体名	公演団体名	郵便番号 (制作団体)	所在地 (制作団体)
E 新潟県 富山県 石川県 福井県 京都府 新潟市 京都市	A	音楽	合唱	公益財団法人 新国立劇場運営財団	新国立劇場合唱団	151-0071	東京都渋谷区本町1丁目1番1号
	A	音楽	オーケストラ等	公益社団法人 大阪交響楽団	大阪交響楽団	590-0074	大阪府堺市堺区北花田口町3-1-15 東洋ビル4階
	A	音楽	オーケストラ等	公益社団法人 山形交響楽協会	山形交響楽団	990-0828	山形県山形市双葉町1-2-38 やまぎん県民ホール内
	A	音楽	音楽劇	特定非営利活動法人 ミラマーレ・オペラ	ミラマーレ・オペラ	223-0053	神奈川県横浜市港北区綱島西2-2-12 プリオール綱島武蔵館503
	A	演劇	児童劇	株式会社 劇団うりんこ	劇団うりんこ	465-0018	愛知県名古屋市中区東区八前1丁目112番地
	A	演劇	児童劇	公益財団法人 現代人形劇センター	デフ・パベツシアター・ひとみ	211-0035	川崎市中原区井田3-10-31
	A	演劇	演劇	株式会社 劇団影法師	株式会社 劇団影法師	180-0012	東京都武蔵野市緑町2-1-5
	A	演劇	ミュージカル	有限会社 オペラシアターこんにゃく座	オペラシアターこんにゃく座	214-0021	神奈川県川崎市多摩区宿河原7-14-1
	B	舞踊	バレエ	公益財団法人 東京シティ・バレエ団	東京シティ・バレエ団	135-0004	東京都江東区森下1-6-14 レッスス森下303号室
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	梶風会	梶風会	164-0003	東京都中野区東中野4-30-18 リビオ東中野地下1階小鳥能舞台内
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	合同会社 大蔵流狂言山本事務所	大蔵流狂言 山本会	166-0012	東京都杉並区和田1-55-9
	A	伝統芸能	邦楽	株式会社 荒馬座	民族歌舞団荒馬座	174-0053	東京都板橋区清水町81-4
	A	伝統芸能	演芸	公益社団法人 落語芸術協会	公益社団法人 落語芸術協会	160-0023	東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F
F 三重県 滋賀県 大阪府 奈良県 和歌山県 大阪市 堺市	A	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団	日本フィルハーモニー交響楽団	166-0011	東京都杉並区梅里1-6-1
	A	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 群馬交響楽団	群馬交響楽団	370-8501	群馬県高崎市栄町9番1号
	B	演劇	児童劇	株式会社 劇団芸優座	株式会社 劇団芸優座	182-0025	東京都調布市多摩川12-28-4
	A	演劇	演劇	かわせみ座	かわせみ座	166-0016	東京都杉並区成田西1-4-17
	A	演劇	ミュージカル	一般社団法人 エーシーオー沖繩	ACO沖繩	902-0067	沖縄県那覇市安里381-2-2F
	A	舞踊	バレエ	有限会社 小林バレエ事務所	小林紀子バレエ・シアター	151-0053	東京都渋谷区代々木5-13-2
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 鎌倉能舞台	公益財団法人 鎌倉能舞台	248-0016	神奈川県鎌倉市長谷3-5-13
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	株式会社 影向舎	公益社団法人 宝生会	243-0005	神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	株式会社 萬狂言	萬狂言	170-0013	東京都豊島区東池袋5-7-4 マール東池袋7F
	A	伝統芸能	邦楽	株式会社 北前船	太鼓芸能集団 鼓童	952-0611	新潟県佐渡市小木金田新田148-1
A	伝統芸能	演芸	公益社団法人 上方落語協会	公益社団法人 上方落語協会	530-0043	大阪府北区天満4丁目12-7	
G 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 広島市 岡山市	A	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団	名古屋フィルハーモニー交響楽団	460-0022	愛知県名古屋市中区金山1-4-10 名古屋音楽プラザ4F
	A	音楽	オーケストラ等	東京佼成ウインドオーケストラ	東京佼成ウインドオーケストラ	166-8537	東京都杉並区和田2-11-1
	A	演劇	児童劇	有限会社 若駒	民族芸能アンサンブル若駒	534-0021	大阪府都島区都島本通2-4-9
	A	演劇	児童劇	有限会社 人形劇団京芸	人形劇団京芸	611-0022	京都府宇治市白川鶴倉山35-20
	A	演劇	演劇	有限会社 東京演劇アンサンブル	東京演劇アンサンブル	352-0011	埼玉県新座市野火止3-16-24
	A	演劇	ミュージカル	有限会社 ショーマンシップ	劇団ショーマンシップ	810-0063	福岡県福岡市中央区唐人町1-10-1 ランドパーク203
	A	舞踊	バレエ	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団	一般社団法人 貞松・浜田バレエ団	657-0822	神戸市灘区畑原通3-6-6
	B	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益社団法人 観世九楽会	公益社団法人 観世九楽会	162-0805	東京都新宿区矢来町60番地
	A	伝統芸能	邦楽	有限会社 古典空間	有限会社 古典空間	151-0062	東京都渋谷区元代々木町10-2 西保ビル1F
	A	伝統芸能	邦舞	公益社団法人 日本舞踊協会	公益社団法人 日本舞踊協会	104-0054	東京都中央区勝どき2-18-1-210
	A	伝統芸能	演芸	株式会社 創	ちびっ子寄席 みんなで作り参加する みんなの寄席	534-0011	大阪府大阪市都島区高倉町1丁目2番18号

ブロック	区分採択	分野	種目	制作団体名	公演団体名	郵便番号 (制作団体)	所在地 (制作団体)
H 兵庫県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 神戸市	A	音楽	合唱	一般財団法人 合唱音楽振興会	東京混声合唱団	169-0051	東京都新宿区西早稲田2-3-18
	B	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 神奈川フィルハーモニー管弦楽団	神奈川フィルハーモニー管弦楽団	231-0004	神奈川県横浜市中区元浜町2丁目13番地
	A	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 日本センチュリー交響楽団	日本センチュリー交響楽団	561-0885	大阪府豊中市岡町1-1 きたしん豊中ビル6階
	A	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 関西フィルハーモニー管弦楽団	関西フィルハーモニー管弦楽団	552-0007	大阪府港区弁天1-2-4-700 大阪ベイトワウエスト7F
	A	音楽	音楽劇	堺シティオペラ 一般社団法人	堺シティオペラ 一般社団法人	591-8037	堺市北区百舌鳥赤畑4-256
	A	演劇	児童劇	株式会社 人形劇団むすび座	人形劇団むすび座	459-8001	愛知県名古屋市長区大高町字川添86
	A	演劇	演劇	有限会社 劇団東京芸術座	劇団東京芸術座	177-0042	東京都練馬区下石神井4-19-11
	A	演劇	ミュージカル	有限会社 劇団ドリームカンパニー	有限会社 劇団ドリームカンパニー	812-0054	福岡県福岡市東区馬出1丁目8番20号
	A	舞踊	バレエ	一般社団法人 法村友井バレエ団	一般社団法人 法村友井バレエ団	543-0052	大阪市天王寺区大道2-5-9
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団	公益財団法人 片山家能楽・京舞保存財団	605-0088	京都市東山区新町前大和路東入西之町224
	A	伝統芸能	人形浄瑠璃	一般社団法人 一糸座	糸あやつり人形一糸座	187-0045	東京都小平市学園西町2-14-21-3F
	A	伝統芸能	邦楽	公益社団法人 日本三曲協会	公益社団法人 日本三曲協会	107-0052	東京都港区赤坂2丁目15-12 パール赤坂403
A	伝統芸能	演芸	わんぱく企画 有限会社	わんぱく寄席(小学校の場合)・学校寄席(中学校の場合)	249-0005	神奈川県逗子市横山8-10-13 オリエン逗子202号室	
I 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 福岡市 北九州市 熊本市	A	音楽	合唱	公益社団法人 関西二期会	公益社団法人 関西二期会	540-0026	大阪市中央区内本町2-3-11-601
	A	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 九州交響楽団	公益財団法人 九州交響楽団	814-0133	福岡市城南区七隈一丁目11番50号 永木文化センター内
	A	音楽	オーケストラ等	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団	京都フィルハーモニー室内合奏団	604-8135	京都市中京区東洞院通三条下る 三文字町200番地 ミックナカムラ303号室
	A	演劇	児童劇	公益社団法人 教育演劇研究協会	劇団たんぽぽ	435-0015	静岡県浜松市東区子安町323-3
	A	演劇	児童劇	企業組合 劇団仲間	劇団仲間	164-0012	東京都中野区本町4-26-5 シビル202
	A	演劇	演劇	有限会社 劇団銅鑼	有限会社 劇団銅鑼	174-0064	東京都板橋区中台1-1-4
	A	演劇	ミュージカル	有限会社 遊玄社	演劇集団遊玄社	164-0003	東京都中野区東中野3-4-2
	B	舞踊	バレエ	一般財団法人 谷桃子バレエ団	谷桃子バレエ団	158-0083	東京都世田谷区奥沢5丁目23番20号 パロンスコート自由が丘B1
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	公益財団法人 山本能楽堂	公益財団法人 山本能楽堂	540-0025	大阪市中央区徳井町1-3-6
	A	伝統芸能	邦楽	有限会社 古典空間	一般社団法人 義太夫協会	151-0062	東京都渋谷区元代々木町10-2 西保ビル1F
A	伝統芸能	演芸	有限会社 三栄企画	話芸の三きょうたい ～落語・講談・浪曲の世界～	556-0015	大阪府大阪市浪速区敷津西2-1-11-803	
J 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	A	音楽	オーケストラ等	公益社団法人 広島交響楽協会	広島交響楽団	730-0842	広島市中区舟入町9-12 舟入信愛ビル3F
	A	音楽	オーケストラ等	一般社団法人 日本テレモノ協会	テレモノ室内オーケストラ	530-0002	大阪市北区曽根崎新地2-1-17
	A	音楽	音楽劇	株式会社 オフィス・ベノミ・クリエイティブ	東京オペラ・レッタ劇場	104-0045	東京都中央区築地4-14-6I XSTビル802
	A	演劇	児童劇	企業組合 劇団風の子九州	劇団風の子九州	814-0002	福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13
	A	演劇	児童劇	有限会社 人形劇団クラルテ	人形劇団クラルテ	559-0015	大阪市住之江区南加賀屋3-1-7
	B	演劇	演劇	有限会社 青年劇場	秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場	160-0022	東京都新宿区新宿2-9-20 間川ビル4階
	A	舞踊	現代舞踊	株式会社 ナチュラルダンスアトル	ナチュラルダンスアトル	167-0051	東京都渋谷区荻窪1-11-12
	A	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般財団法人 能楽堂嘉祥閣	一般財団法人 能楽堂嘉祥閣	604-0866	京都府京都市中京区西方寺町160-1
	A	伝統芸能	人形浄瑠璃	公益財団法人 淡路人形協会	淡路人形座	656-0475	兵庫県南あわじ市市三篠880番地
	A	伝統芸能	邦楽	株式会社 東京コンサーツ	一般社団法人 伶楽舎	169-0051	東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOBIL2F
	A	伝統芸能	演芸	株式会社 CHURA	一般社団法人 沖縄歌舞劇団 美	902-0076	沖縄県那覇市与儀368-13-1F
A/B/E	C	音楽	オーケストラ等	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団	東京フィルハーモニー交響楽団	163-1408	東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F
B/C	C	伝統芸能	歌舞伎・能楽	一般社団法人 京都能楽囃子方同明会	一般社団法人 京都能楽囃子方同明会	616-8372	京都市右京区嵯峨天龍寺広道町10-10 前川方
D/F	C	演劇	児童劇	有限会社 劇団風の子	劇団風の子	192-0152	東京都八王子市美山町1320-1
F/H	C	メディア芸術	映像	一般社団法人 こども映画教室	こども映画教室	158-0084	東京都世田谷区東玉川1-32-23 こども映画教室事務局
G/H/J	C	音楽	オーケストラ等	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団	京都フィルハーモニー室内合奏団	604-8135	京都市中京区東洞院通三条下る 三文字町200番地 ミックナカムラ303号室
G/H/I	C	演劇	児童劇	企業組合 劇団風の子九州	劇団風の子九州	814-0002	福岡県福岡市早良区西新5丁目5-13

「文化芸術による子供育成総合事業」実施要綱

「文化芸術による子供育成総合事業」実施要綱

平成26年4月1日 文化庁長官決定

平成31年1月31日 文化庁長官決定

1 趣 旨

小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、又は小学校・中学校等に個人又は少人数の芸術家を派遣し、子供たちに対し質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を実施することにより、子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげる。

2 事業の内容

(1) 巡回公演事業

ア 実施内容

小学校、中学校、中等教育学校（前期課程）又は特別支援学校（小学部、中学部）において、一流の文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を実施する。その際、事前に公演に関するワークショップを行い、児童・生徒を実演に参加させるとともに、実演指導又は鑑賞指導を行う（複数が合同で実施する場合を含む。）。

イ 公演演目

合唱、オーケストラ、音楽劇、児童劇、演劇、ミュージカル、バレエ、現代舞踊、歌舞伎、能楽、人形浄瑠璃、邦楽、邦舞、演芸等の実演芸術等

ウ 演目

芸術性の高い評価の定まったものを中心とし、かつ児童・生徒の鑑賞に適した内容のもの

エ 公演団体

公演種目及び演目の実施に関し、相応の実績を有する文化芸術団体

(2) 芸術家派遣事業

ア 学校公募型

(ア) 実施内容

小学校、中学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校（以下「小学校・中学校等」という。）に個人又は少人数の芸術家を派遣し、当該分野における講話、実技披露、実技指導等を実施する。

(イ) 実施分野

音楽、演劇、舞踊、大衆芸能、美術、伝統芸能、文学、生活文化、メディア芸術等

(ウ) 被派遣者

当該分野において優れた活動を行っている芸術家イ 特定非営利活動法人等提案型

(ア) 実施内容

文化芸術の振興を目的とする特定非営利活動法人、公益法人、一般財団法人、一般社団法人又は特例民法法人（以下「特定非営利活動法人等」という。）が、小学校・中学校等における文化芸術活動のニーズを踏まえて、小学校・中学校等と芸術家との間の連絡調整を行い、小学校・中学校等に個人又は少人数の芸術家を派遣し、当該分野における講話、実技披露、実技指導等を実施する。

(イ) 実施分野

音楽、演劇、舞踊、大衆芸能、美術、伝統芸能、文学、生活文化、メディア芸術等

(ウ) 被派遣者

当該分野において優れた活動を行っている芸術家

(3) コミュニケーション能力向上事業

ア 学校公募型

(ア) 実施内容

小学校・中学校等に個人又は少人数の芸術家を派遣し、芸術家の表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を実施する。

(イ) 実施分野

音楽、演劇、舞踊、大衆芸能、美術、伝統芸能、文学、生活文化、メディア芸術等

(ウ) 被派遣者

当該分野において優れた活動を行っている芸術家イ 特定非営利活動法人等提案型

(ア) 実施内容

特定非営利活動法人等が、小学校・中学校等における文化芸術活動のニーズを踏まえて、小学校・中学校等と芸術家との間の連絡調整を行い、小学校・中学校等に個人又は少人数の芸術家を派遣し、芸術家の表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を実施する。

(イ) 実施分野

音楽、演劇、舞踊、大衆芸能、美術、伝統芸能、文学、生活文化、メディア芸術等

(ウ) 被派遣者

当該分野において優れた活動を行っている芸術家

3 主催者

主催者は、次のとおりとし、必要に応じて、会場の管理者、市（区）町村、市（区）

町村教育委員会，その他文化庁長官が適当と認める者を加えることができる。

(1) 文化庁

(2) 都道府県，都道府県教育委員会，政令指定都市，政令指定都市教育委員会のいずれか又は複数（以下「都道府県等」という。）

(3) 小学校・中学校等

4 参加者

参加者は，原則として児童・生徒，教職員及び保護者とする。

5 実施会場

実施会場は，原則として小学校・中学校等の施設とする。ただし，複数の学校が合同で実施する場合や全校児童・生徒を収容できる施設が無い場合等には，文化施設等適切な施設で実施することができる。

6 事業の決定

(1) 巡回公演事業

ア 文化庁長官は，出演を希望する公演団体の中から芸術文化及び学校教育に識見を有する者で構成される企画委員会の審査を経て，公演団体及び演目を決定する。

イ 文化庁長官は，都道府県等からの推薦を受け，実施校を決定する。

(2) 芸術家派遣事業

ア 学校公募型

文化庁長官は，都道府県等からの推薦を受け，被派遣者及び実施校を決定する。

イ 特定非営利活動法人等提案型

文化庁長官は，特定非営利活動法人等からの推薦を受け，被派遣者及び実施校を決定する。

(3) コミュニケーション能力向上事業

ア 学校公募型

文化庁長官は，都道府県等からの推薦を受け，被派遣者及び実施校を決定する。

イ 特定非営利活動法人等提案型

文化庁長官は，特定非営利活動法人等からの推薦を受け，被派遣者及び実施校を決定する。

7 実施方法

(1) 本事業は文化庁が直接実施するものとする。ただし，文化庁は事業の実施に当たり，業務の一部を委託できるものとする。

(2) 文化庁は，本事業の実施に当たり，文部科学省初等中等教育局と連携する。

(3) 小学校・中学校等は，本事業の実施に当たり，国語・音楽等の教科や総合的な学習

の時間、特別活動の中の学校行事等に位置付けることとする。

8 経費の負担

(1) 巡回公演事業

文化庁は、予算の範囲内で、公演費、派遣費、児童・生徒が実施会場へ移動する際の交通費の一部及び本事業を実施するために必要な事務経費等を負担する。

(2) 芸術家派遣事業

ア 学校公募型

文化庁は、予算の範囲内で、講師等謝金、派遣旅費、講演等諸雑費及び本事業を実施するために必要な事務経費等を負担する。

イ 特定非営利活動法人等提案型

文化庁は、予算の範囲内で、講師等謝金、派遣旅費、講演等諸雑費及び本事業を実施するために必要な事務経費等を負担する。

(3) コミュニケーション能力向上事業

ア 学校公募型

文化庁は、予算の範囲内で、講師等謝金、派遣旅費、ワークショップ等の実施に要する諸雑費及び本事業を実施するために必要な事務経費等を負担する。

イ 特定非営利活動法人等提案型

文化庁は、予算の範囲内で、講師等謝金、派遣旅費、ワークショップ等諸雑費及び本事業を実施するために必要な事務経費等を負担する。

(4) 文化庁以外の主催者が負担する経費

文化庁以外の主催者は、上記(1)から(3)に規定する文化庁負担経費以外に必要な経費を負担する。

9 事業の報告

事業を実施した3(3)の者は、事業終了後30日以内又は当該事業年度の3月31日のいずれか早い日までに、都道府県等を通じて事業実施報告書を文化庁に提出するものとする。

10 その他

この要綱に定めるもののほか、本事業の実施に関し必要な事項は文化庁次長が別に定める。

■令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業-巡回公演事業-実施の手引きに係る主な変更点について

令和2年6月16日

項目	学校用		令和2年度学校用 手引き内 届出ページ
	令和元年度(前年度)	令和2年度	
事業実施期間	①-3: 事業実施期間 (1)ワークショップ: 令和元年5月7日から令和元年12月27日まで (2)公演: 令和元年6月1日から令和元年12月27日まで ※ワークショップは、原則として公演の30日前までに実施してください。	①-3: 事業実施期間 (1)ワークショップ: 令和2年6月7日(木)から令和3年1月29日(金)まで (2)公演: 令和2年6月1日(月)から令和3年1月29日(金)まで ※今年度の実施については、新型コロナウイルス感染症の影響により、通常期間内での実施が難しい場合があるかと思っております。令和3年2月26日(金)までを対象実施期間とします。令和3年2月1日以降への日程延期等が見込まれる場合は実施団体又は事務局まで御連絡ください。	2ページ
主催者	①-5: 主催者 主催者は次のとおりとし、必要に応じて会場の管理者、市(区)町村、市(区)町村教育委員会を加えることができます。 (1)文化庁 (2)都道府県、都道府県教育委員会、政令指定都市、政令指定都市教育委員会のいずれか又は複数(以下「都道府県等」という。) (3)小学校・中学校等	①-5: 主催者 主催者は次のとおりとし、必要に応じて会場の管理者、市(区)町村、市(区)町村教育委員会を主催者として加えることができます。 (1)文化庁 (2)都道府県、都道府県教育委員会、政令指定都市、政令指定都市教育委員会のいずれか又は複数(以下「都道府県等」という。) (3)小学校・中学校等	2ページ
実施の流れ	②-1: 事業の流れ (図表)	②-1: 事業の流れ ■図表の差し替え ※事業全体の実施の流れは変わりません。 ※「ワークショップ完了確認書」「本公演完了確認書」がそれぞれ紙媒体・押印原本送付での報告方法から、メール送信による完了報告方法に変更となりました。	4ページ
書類の提出期限 及び 提出方法について	②-3: 提出書類 一覧 【様式11】ワークショップ完了確認書 【様式12】本公演完了確認書 →ワークショップ終了時に制作団体責任者に渡してください。 【様式15】交通費申請書 →都道府県等から事務局への提出締切: 実施の30日前迄 【様式16】交通費支払依頼書兼請求書 【様式13】実施報告書 【様式14】実施状況調 →都道府県等から事務局への提出締切: 公演終了後30日以内	②-3: 提出書類 一覧 【書式任意】実施終了報告(旧: 完了確認書) →実施当日又は翌日までにメール又はFAXにて事務局まで送信してください。 【様式11】交通費申請書 →都道府県等から事務局への提出締切: 実施の30日前迄 【様式12】交通費支払依頼書兼請求書 【様式13】実施報告書 【様式14】実施状況調 →都道府県等から事務局への提出締切: 公演終了後30日又は3月10日いずれかの早い方 ※事業実施期間の変更に伴い、様式の提出期日が一部変更になっています。 ※【様式11】、【様式12】の各完了確認書類について、報告方法が変更になります。 (紙媒体・押印原本の提出からメールやFAX等の記録が残る方法での報告に変更となります。)	5ページ 【様式11】 【様式12】 21~24ページ 【様式13】 【様式14】 16~18ページ 【実施終了報告】 10~11ページ 14~15ページ
天災、インフルエンザの流行等により、やむを得ず延期する場合の手続き方法	(参考) 天災、インフルエンザの流行等により、やむを得ず延期する場合の手続き ①変更発生時に都道府県・政令指定都市教育委員会(又は都道府県が指定する市区町村等の担当部局)へメールまたはFAXで状況報告 ↓ ②変更発生時に都道府県・政令指定都市教育委員会(又は都道府県が指定する市区町村等の担当部局)より事務局へ変更内容共有 ↓ ③事務局より届出書の作成依頼 ↓ ④届け出(書面)の作成・提出	(参考) 天災、インフルエンザの流行等により、やむを得ず延期する場合の手続き ■図表の差し替え ※下記の通り紙媒体での届出の時期が変更になっています。 ①変更発生時に都道府県・政令指定都市教育委員会(又は都道府県が指定する市区町村等の担当部局)へメールまたはFAXで状況報告 ↓ ②届け出(書面)の提出 【日程変更届】 決定通知と異なる日付での実施となった場合は、実施完了時に報告書とともに「日程変更届」を作成、都道府県・政令指定都市を通して御提出ください。 (日程変更届の作成については適宜御案内します。) 【事業中止報告書】 学校団体からともに中止の申し出があった時点で中止の扱いとし、事務局より都道府県・政令指定都市を通して「事業中止報告書」の作成依頼及び手続の御案内します。	8ページ
ワークショップ について	(12ページ)④-1: ワークショップについて ワークショップの実施は必須です。	④-1: ワークショップについて ※新型コロナウイルス感染症の影響や学校の状況に応じて判断をお願いします。	10ページ
各種様式について	②-3: 提出書類 一覧 【様式11】ワークショップ完了確認書 【様式12】本公演完了確認書 【様式13】実施報告書 【様式14】実施状況調 【様式15】交通費申請書 【様式16】交通費支払依頼書兼請求書	②-3: 提出書類 一覧 ※下記の通り様式番号が変更となりました。 【様式11】交通費申請書 【様式12】交通費支払依頼書兼請求書 【様式13】実施報告書 【様式14】実施状況調 【様式11】ワークショップ完了確認書 一任意様式(FAXまたはメール) 【様式12】本公演完了確認書 一任意様式(FAXまたはメール)	5ページ
	(5ページ)②-3: 提出書類 一覧 (10~11ページ)③-2: ワークショップ終了後の報告書類 (16~17ページ)④-3: 公演終了後の報告書類	(5ページ) ②-3: 提出書類 一覧 (10~11ページ)③-2: ワークショップ終了後の報告書類 (14~15ページ)④-3: 公演終了後の報告書類 ※「ワークショップ実施完了報告」「本公演実施完了報告」の方法について紙媒体・原本郵送を廃止し、メールまたはFAXでの御報告方法に変更しています。 ※ワークショップ、本公演ともに実施完了報告自体は必要ですので、この点ご留意いただけますようお願いいたします。 ※完了報告期限は、ワークショップの終了後、実施完了報告を当日又は翌日までです。	5ページ 10~11ページ 14~15ページ
プログラムデータの作成について	【様式13】実施報告書 ※文書内へ「文書番号」を記載する箇所について、予め文書番号が記載された状態の様式を事業専用WEBサイトへ提出してました。	【様式13】実施報告書 ※文書内へ「文書番号」を記載する箇所について、空欄の状態の様式を事業専用WEBサイトへ提出します。通知文書番号の記載漏れや文書番号の誤りに御留意ください。	16ページ
		※団体から学校へプログラムを送付する期限は、1週間前までに変更となりました。 (令和元年度までは2週間前までとしていました。)	-

項目	団体用		
	令和元年度(前年度)	令和2年度	令和2年度団体用 手引き内 掲出ページ
事業実施期間	3. 実施期間 (1) ワークショップ: 令和元年5月7日から令和元年12月27日まで (2) 公演: 令和元年6月1日から令和元年12月27日まで ※ワークショップは、原則として公演の30日前までに実施してください。	3. 実施期間 (1) ワークショップ: 令和2年5月7日(木)から令和3年1月29日(金)まで (2) 公演: 令和2年6月1日(月)から令和3年1月29日(金)まで ※今年度の実施については、新型コロナウイルス感染症の影響により、通常期間内での実施が難しい場合があるかと思しますので、令和3年2月26日(金)までを対象実施期間とします。 令和3年2月1日以降への日程延期等を必要とする場合は、事務局へ御相談ください。	2ページ
主催者	4. 主催者 主催者は次のとおりとし、必要に応じて会場の管理者、市(区)町村、市(区)町村教育委員会を加えることができます。 (1) 文化庁 (2) 都道府県、都道府県教育委員会、政令指定都市、政令指定都市教育委員会のいずれか又は複数(以下「都道府県等」という。) (3) 小学校・中学校等	5. 主催者 主催者は次のとおりとし、必要に応じて会場の管理者、市(区)町村、市(区)町村教育委員会その他文化庁長官が適当と認める者を主催者として加えることができます。 (1) 文化庁 (2) 都道府県、都道府県教育委員会、政令指定都市、政令指定都市教育委員会のいずれか又は複数(以下「都道府県等」という。) (3) 小学校・中学校等	2ページ
実施の流れ	1. 実施の流れ (図表)	1. 実施の流れ ■図表の差し替え ※事業全体の実施の流れは変わりません。 ※各実施校が作成・提出していた「ワークショップ完了確認書」「本公演完了確認書」について、紙媒体・押印原本を送付または団体へ手渡し提出方法から、事務局へ直接メール又はFAXを送信する方法に変更となりました。	3ページ
書類の提出期限及び提出方法について	7. 提出書類一覧表 様式1 見積書 様式2 キャスト表 様式3 出演料内訳 様式4 旅費算定基礎表 様式5 車両行程表兼運転手当支払確認表 一 根拠書類・各種理由書 一 令和元年5月17日(金) 公演プログラム 一 校正データの送信: 公演実施21日前まで 提出データの送信: 公演実施14日前まで 学校へのデータ送信: 公演実施14日前まで 様式2 キャスト表 様式3 出演料内訳 様式4 旅費算定基礎表 様式5 車両行程表兼運転手当支払確認表 様式7 公演完了報告書 様式8 精算報告書(委託業務完了報告書) 様式9 本公演日当支払明細 様式10 ワークショップ謝金・日当支払明細 一 証憑書類 一 公演終了後45日以内 様式11 ワークショップ完了確認書 様式12 公演完了確認書 一 公演終了後30日以内	7. 提出書類一覧表 様式1 見積書 様式2 キャスト表 様式3 出演料内訳 様式4 旅費算定基礎表 様式5 車両行程表兼運転手当支払確認表 一 根拠書類・各種理由書 一 令和2年6月30日(火) 公演プログラム 一 校正データの送信: 公演実施14日前まで 提出データの送信: 公演実施7日前まで 学校へのデータ送信: 公演実施7日前まで 様式2 キャスト表 様式3 出演料内訳 様式4 旅費算定基礎表 様式5 車両行程表兼運転手当支払確認表 様式7 公演完了報告書 様式8 精算報告書(委託業務完了報告書) 様式9 本公演日当支払明細 様式10 ワークショップ謝金・日当支払明細 一 証憑書類 一 公演終了後45日以内又は令和3年3月10日のいずれか早い日 様式11 ワークショップ完了確認書 様式12 公演完了確認書 ※報告方法変更のため、団体側での回収は不要となりました。	10ページ 【様式1～5】 (見積時) 8ページ プログラムデータ 36～37ページ 【様式2～5】 【様式7～10】 (精算時) 9ページ
天災、インフルエンザの流行等により、やむを得ず延期する場合の手続き方法	(参考) 天災、インフルエンザの流行等により、やむを得ず延期する場合の手続き (図表)	(参考) 天災、インフルエンザの流行等により、やむを得ず延期場合の手続き ■図表の差し替え ※連絡共有の流れについて変更はありません。	4ページ
ワークショップについて	-	※新型コロナウイルス感染症の流行状況や影響や学校の状況に応じた対応の検討をお願いします。	-
各種様式について	4. 事業完了報告 ●各ワークショップ終了後及び各本公演終了後、学校から提出を受けた【様式11】ワークショップ完了確認書、【様式12】公演完了確認書について、記載の不備や不足がないことを確認の上、提出してください。 提出期限: 各ワークショップ及び各本公演終了後30日以内(厳守) ※各ワークショップ及び各公演終了後30日以内に、写し(PDF)を事務局へお送りください(原本は、全公演終了後、【様式7】公演完了報告書と併せて提出してください)。 【様式1】見積書 (42ページ) 【様式2】キャスト表 (43ページ) 【様式3】出演料内訳 (44ページ) 【様式7】公演完了報告書 (47ページ) 【様式8】精算報告書(委託業務完了報告書) (48ページ)	※報告方法変更のため【様式11】ワークショップ完了確認書と【様式12】公演完了確認書については団体側での回収は不要となりました。 【様式1】見積書 ※算出根拠の種類を選択(手入力も可)に変更しています。 ※外部発注の場合も算出根拠の種類を選択をお願いします。 【様式2】キャスト表 ※ワークショップのキャスト表について、上部に1日に2校以上実施する場合の記載欄を付加しました。 【様式3】出演料内訳 ※「証憑書類番号」欄を付加しました。精算時に証憑書類の番号を記載してください。 【様式7】公演完了報告書 ※「決定通知文書番号」欄、「ワークショップ対応方法」欄を付加しました。 【様式8】精算報告書(委託業務完了報告書) ※様式全体の記載形式が変更になっています。	【様式1】40ページ 【様式2】41ページ 【様式3】42ページ 【様式7】45ページ 【様式8】46～47ページ
プログラムデータの作成について	1. プログラムデータの作成 (38～39ページ)	1. プログラムデータの作成 ■提出内容について ※記載必須項目一記載対象への変更 ・実施校名、実施予定日、地元主催者 ※記載必須項目一提出任意への変更 ・「国際音楽の日」について ■各手続きの期限 校正データの送信: 公演実施14日前まで 提出データの送信: 公演実施7日前まで 学校へのデータ送信: 公演実施7日前まで	36～37ページ